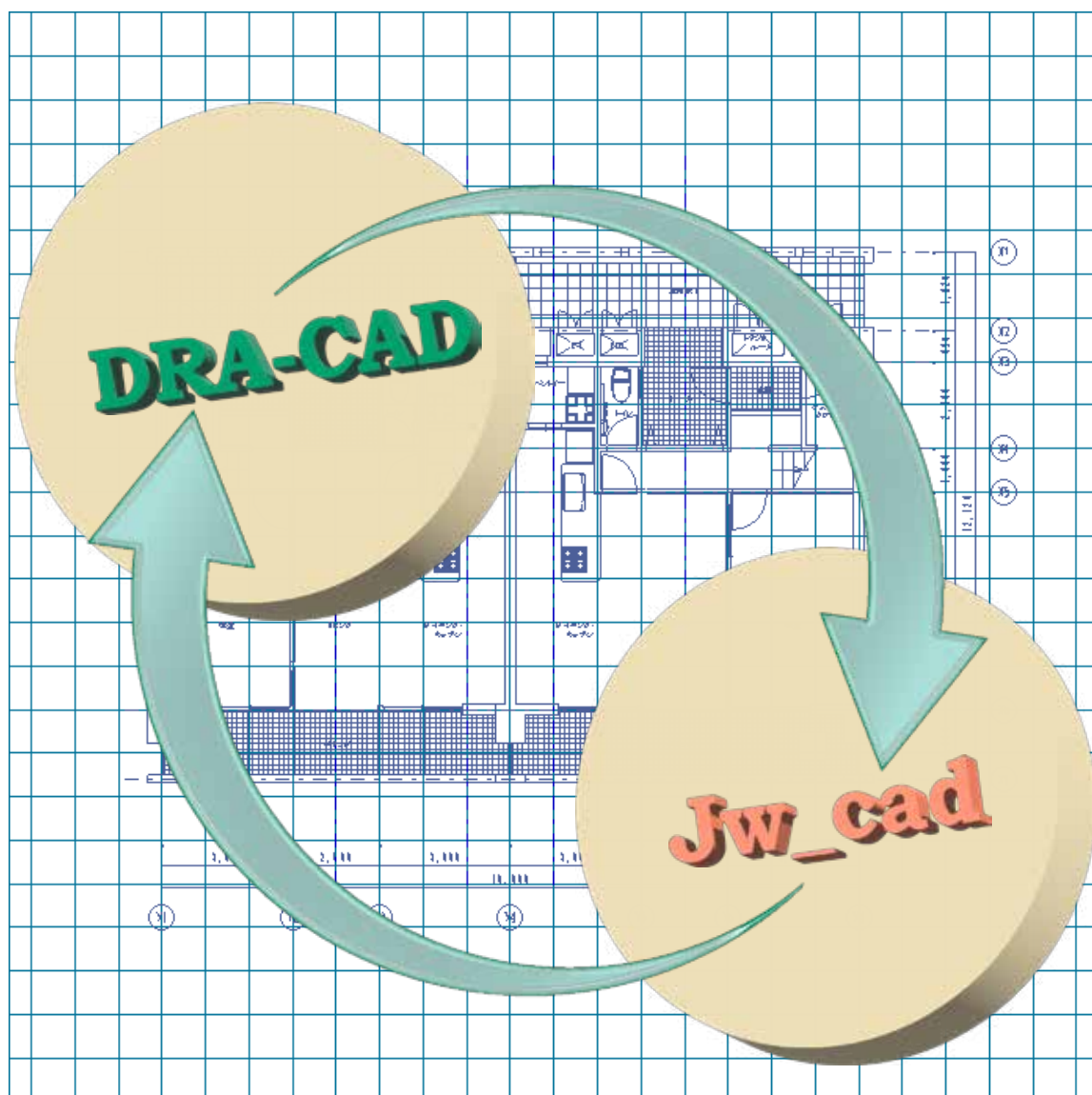


DRA-CAD

データ変換テクニック

Jw_cad 編



はじめに

異なった CAD プログラム間でデータ変換を行うと、それぞれの CAD 特有の機能により、変換できない要素や表示上の違いがでる場合があります。

そのため互いの CAD で、データ変換に必要な内容を理解する、特殊な機能は使用しない、といった対応をおこなうことで、データ変換率を上げることができます。

さらに受け渡しする双方で、作図上の取り決めを事前に行うことで、データ受け渡し後の編集作業を減らすこともできます。

dracad 2026 では、JWW ファイルの読み書きに対応しており、手間なくスムーズにデータ変換を行うことができます。

本資料は、dracad 2026 とフリーソフトウェアの Jw_cad 間でのデータ変換について説明しています。記載している Jw_cad の内容は、構造システムが独自に作成したものになります。表現などの誤りがある可能性もありますが、なにとぞご了承くださいませようお願い申し上げます。

■本資料について

- ・本資料は、Windows 11 上で dracad 2026 を使用しているものとして、JWW ファイルの読み書きについて説明しています。他の Windows では、ダイアログの表示などが異なる場合があります。
- ・資料作成時のバージョンは、dracad 2026 は Ver.26.0.1.4、Jw_cad は Ver. 10.02.1 を元に説明しています。違うバージョンをお使いの場合、変換結果が異なることがあります。
- ・説明時に書かれた dracad 2026 のその他のコマンド・機能に関する詳細は、ユーザーズマニュアルおよびリファレンスマニュアルをご参照ください。

注 意 事 項

1. 本プログラムおよびマニュアルの一部または全部を、無断で複写・転載することは禁止されています。
2. 本文中に記述してある内容は、資料作成時の仕様であり、将来 DRA-CAD および Jw_cad のバージョンアップなどにより変更になる可能性があります。
3. 本文および DRA-CAD を運用した結果、生じた金銭上の損害・逸失利益などにつきましては、本文および DRA-CAD に不備やエラーがあったと致しましても、その責任を負いかねますのでご了承ください。

●Jw_cad プログラムはフリーソフトウェアです。このプログラムの著作権は、著作者である Jiro Shimizu & Yoshifumi Tanaka が所有しています。

●その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

目次

はじめに

1.Jw_cad との変換について	1
JWW ファイルの読み込み	1
◆ DRA-CAD で対応している Jw_cad のバージョン	1
◆ 主な属性の比較	1
◆ 主な図形要素の比較	2
JWW ファイルの書き出し	5
◆ DRA-CAD で対応している Jw_cad のバージョン	5
◆ 主な属性の比較	5
◆ 主な図形要素の比較	6
2.JWW ファイルの読み込み	11
[線色]タブの解説	12
[SXF 拡張線色]タブの解説	16
[レイヤ]タブの解説	19
[線種]タブの解説	22
[SXF 拡張線種]タブの解説	25
[一般]タブの解説	28
[プロパティ]タブの解説	31
3.JWW ファイルの書き出し	32
[一般]タブの解説	34
[カラー]タブの解説	39
[レイヤ]タブの解説	43
[線種]タブの解説	45
[文字種類]タブの解説	47

4.補足	52
設定ファイルの書込・読込	52
記入縮尺について	53
【レイヤグループ設定】コマンドについて	54
◆ レイヤグループに対する所属レイヤ(16グループ×16レイヤ)を設定する	54
◆ 【レイヤグループ設定】コマンドで記入縮尺の設定と所属レイヤの確認	57
◆ 書き出し時のレイヤ設定	58
レジストリ編集ツール	59
データ変換のバージョン対応表	60
◆ 読み込みに対応している Jw_cad のファイルバージョン	60
◆ 書き出しに対応している Jw_cad のファイルバージョン	60
◆ バージョンごとの対応内容一覧表	60
変換についてのよくあるご質問	64
◆ 読み込みについて	64
◆ 書き出しについて	66
◆ その他	69

1. Jw_cad との変換について

ここでは、Jw_cad の JWW ファイルとの変換ルールについて説明します。

JWW ファイルの読み込み

◆ DRA-CAD で対応している Jw_cad のバージョン

Jw_cad バージョン	読み込み
Ver 2.25～2.25e	DRA-CAD5 から対応
Ver 2.30～2.51	
Ver 3.00～3.50a	
Ver 3.51～4.10a	
Ver 4.20～5.22	DRA-CAD7 から対応
Ver 6.00～6.21a	DRA-CAD8 から対応
Ver 7.00～10.02.1	DRA-CAD10 から対応

◆ 主な属性の比較

属 性	Jw_cad	DRA-CAD	DRA-CAD へ変換後の属性
レイヤ	256 種類	257 種類	変換する ・ダイアログで設定したレイヤ番号に変換される。※1 参照 ・Jw_cad のプロテクトレイヤには対応していません。プロテクトレイヤの情報は失われます。
線 色	8 色＋補助線色、 SXF 対応拡張線色(固定 16 色＋240 色)	256 色	変換する ・補助線色の線分は、補助線図形に変換できる。※2 参照 ・自動で Jw_cad の画面要素色に変換、またはダイアログで設定した色番号で変換される。※3 参照
線 種	8 種類＋補助線種、 ランダム線種 5 種類、 倍長線種 4 種類、 SXF 対応拡張線種 15 種類、 ユーザー定義線種 16 種類	32 種類	変換する ・補助線種の線分は、補助線図形に変換できる。※2 参照 ・自動で Jw_cad の画面表示線種に変換、またはダイアログで設定した線種番号に変換される。 ・自動で変換する場合のみ、線種定義も変換する。※4 参照

属 性	Jw_cad	DRA-CAD	DRA-CAD へ変換後の属性
線 幅	8 種類＋ 拡張線幅 (0.01 mm～5.00 mm)	16 種類または 256 種類 (線幅を色 で指定する場合)	変換する ・図形に線幅が設定されていない場合は、 設定により線幅を色で指定した状態で 変換される。 ・線幅定義は Jw_cad の線色 1～8 が線幅 1～8 番、補助線色は線幅 9 番 (0 mm)、 SXF 対応拡張線色・線種は、線幅 10 番 (基本幅 0 の場合は、0.18 mm) に変換され る。図形ごとの線幅は、線幅 11～16 番に 自動的に定義される。6 種類以上の図形 ごとの線幅が使用されている場合は、線 幅 1 番とする。

※1 Jw_cad のグループに関する名前や縮尺は、【レイヤグループ】コマンド、【Jw レイヤパレット】に反映され、確認や変更が行えます。

※2 「補助線」についての詳細は、14 ページの「補助線について」、「補助線の変換について」を参照。

※3 変換結果の詳細は、12 ページの「【線色】タブの解説」を参照。

※4 変換結果の詳細は、22 ページの「【線種】タブの解説」を参照。

◆ 主な図形要素の比較

Jw_cad の図形要素を、DRA-CAD で変換した場合の対応とルールを表にまとめると、以下のようになります。

Jw_cad の図形要素		DRA-CAD へ変換後の図形要素
仮点・実点		点または円 ・ダイアログの設定により、点に変換する、または点を円に変換する。
線分		線分 ※1 参照
円・円弧		円・円弧
楕円・楕円弧		楕円・楕円弧
寸法線 寸法線図形 (寸法線図形設定で書いた寸法線)		旧寸法線 (線分と文字) ・R や ϕ が書かれている寸法線を【ストレッチ】コマンドで編集した場合、数値のみの表示に変わるため、編集後、数値の文字変更が必要になる。
サイン曲線		線分 ※1 参照
2 次曲線		・DRA-CAD にもスプライン、ベジェ曲線があるが、Jw_cad 側で自由曲線の制御点が保持できないため、線分に分解して変換される。
スプライン曲線		
ベジェ曲線		
文字		文字 ※2 参照 ※4 参照
ハッチング図形		線分 ※1 参照
ブロック図形		ブロック
ソリッド図形		塗りつぶしポリライン図形 ・五角形以上のソリッド図形は、三角形に分割される。 ・ソリッド図形の塗りの色は、そのまま変換される。 ・Jw_cad の円弧塗りつぶしには対応していません。
多角形		線分 ※1 参照
画像		画像 ※3 参照

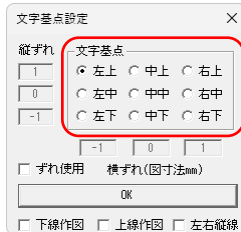
※1 「補助線」についての詳細は、14 ページの「補助線について」、「補助線の変換について」を参照。

※2 文字原点がすべて左下になります。

Jw_cad では、文字配置時に配置基準となる文字基点の指定が可能です。文字データには左下の座標のみ保存され、配置時の文字基点の情報は保存されません。そのため、JWW ファイルを DRA-CAD で読み込む場合、すべての文字原点が左下で読み込まれます。

Jw_cad

配置時、指定可能
例「左上」

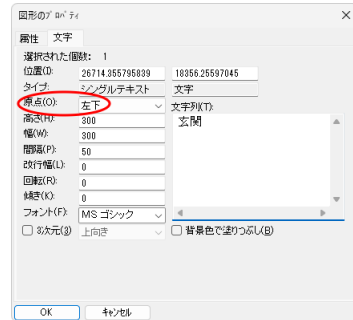


保存すると、
「左下」になる



DRA-CAD

読み込むと、必ず「左下」
図形のプロパティで確認できる



※3 ・Jw_cad Ver.7 より、図面ファイル内に画像ファイルを埋め込めるようになりましたので、Jw_cad Ver.7 以降の画像を同梱している JWW ファイルを読み込むと、一時フォルダ内に画像ファイルが保存されます (MPUW/ MPS/MPZ/MPX の保存時にも、画像を図面ファイル内に保存します)。

画像を同梱していない場合、データの受け渡しに画像ファイルが別途必要となります。

・JWW ファイル読み込み時の「一般」タブの設定により、画像の透過色を有効にして読み込みます (詳細は 26 ページの「⑦画像の透過色を有効にする」を参照)。

※4 【DRA-CAD の特別な文字の仕組み】

DRA-CAD では「上付・下付・太字・斜体・下線・取消線」や「Unicode でしか表現できない文字」を表示・印刷するための特別な記入の仕組みに「エスケープ文字」があります (エスケープ文字の入力方法については、9 ページの「エスケープ文字の入力」を参照)。

【Jw_cad の特別な文字の仕組み】

Jw_cad では「上付・下付・太字・斜体・下線・取消線」や「重ね文字」という独自の文字設定で特殊な文字を入力します。Jw_cad の特殊な文字を DRA-CAD で読み込んだ場合は、「エスケープ文字」に変換されます。

例:

Jw_cad での入力

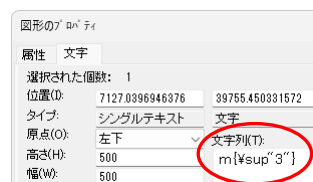
m^3



文字変更・移動 (4 / 4)
 m^u3



DRA-CAD で読み込む→プロパティで確認する



※Jw_cad の「重ね文字」は「PL」と「CL」のみ DRA-CAD で読み込みます。

DRA-CAD では Jw_cad で設定された特殊な文字の一部に対応しています。詳細は 4 ページの「変換できる特殊な文字の対応一覧」をご参照ください。

変換できる特殊な文字の対応一覧

特殊文字	文字	Jw_cad での入力
上付文字	m^3	文字 ^{^u} 文字 文字変更・移動 (4 / 4) m ^{^u} 3
下付文字	A_2	文字 ^{^d} 文字 文字変更・移動 (4 / 4) A ^{^d} 2
太字	ABC	^{^!} 文字 文字入力 (5 / 5) ^{^!} ABC
斜体	<i>ABC</i>	^{^/} 文字 文字変更・移動 (5 / 5) ^{^/} ABC
下線	<u>ABC</u>	^{^_} 文字 文字入力 (5 / 5) ^{^_} ABC
取消線	~~ABC~~	^{^-} 文字 文字入力 (5 / 5) ^{^-} ABC



DRA-CAD で変換後の表示	
文字{¥sup" 文字"}	図形のプロパティ 属性 文字 選択された個数: 1 位置(O): 6000 35000 タイプ: シングルテキスト 文字 原点(O): 左下 文字列(T): 高さ(H): 5 m{¥sup" 3"}
文字{¥sub" 文字"}	図形のプロパティ 属性 文字 選択された個数: 1 位置(O): 6000 35000 タイプ: シングルテキスト 文字 原点(O): 左下 文字列(T): 高さ(H): 5 A{¥sub" 2"}
{¥b" 文字"}	図形のプロパティ 属性 文字 選択された個数: 1 位置(O): 7000 35000 タイプ: シングルテキスト 文字 原点(O): 左下 文字列(T): 高さ(H): 5 {¥b" ABC"}
{¥i" 文字"}	図形のプロパティ 属性 文字 選択された個数: 1 位置(O): 9000 35000 タイプ: シングルテキスト 文字 原点(O): 左下 文字列(T): 高さ(H): 5 {¥i" ABC"}
{¥u" 文字"}	図形のプロパティ 属性 文字 選択された個数: 1 位置(O): 11000 35000 タイプ: シングルテキスト 文字 原点(O): 左下 文字列(T): 高さ(H): 5 {¥u" ABC"}
{¥o" 文字"}	図形のプロパティ 属性 文字 選択された個数: 1 位置(O): 13000 35000 タイプ: シングルテキスト 文字 原点(O): 左下 文字列(T): 高さ(H): 5 {¥o" ABC"}

「重ね文字」には対応していませんが、特例として「PL」と「CL」のみ対応しています。

※「PL」{¥uni"214A"}、「CL」({¥uni"2104"})

特殊文字	文字	Jw_cad での入力
重ね文字	$\mathbb{R}$	文字 ^{^b} 文字 文字変更・移動 (4 / 4) P ^{^b} L



DRA-CAD で変換後の表示	
{¥uni"Unicode 番号"}	図形のプロパティ 属性 文字 選択された個数: 1 位置(O): 1000 26000 タイプ: シングルテキスト 文字 原点(O): 左下 文字列(T): 高さ(H): 5 {¥uni" 214A"}

JWW ファイルの書き出し

◆ DRA-CAD で対応している Jw_cad のバージョン

Jw_cad バージョン	書き出し
Ver 2.30～2.51	DRA-CAD5 から対応
Ver 3.00～3.50	
Ver 3.51～4.10	
Ver 4.20～5.22	DRA-CAD7 から対応
Ver 6.00～6.21a	DRA-CAD8 から対応
Ver 7.00～	DRA-CAD10 から対応

◆ 主な属性の比較

属 性	DRA-CAD	Jw_cad	Jw_cad へ変換後の属性
レイヤ	257 種類	256 種類	変換する ・ダイアログで設定したレイヤ番号に変換される。 ・レイヤグループコマンドで、先頭から 16 個ずつレイヤグループが設定されている場合は、Jw_cad のグループへ縮尺や名称が変換される。※1 参照
線 色	256 色	8 色 + 補助線色、 SXF 対応拡張線色 (固定 16 色 + 240 色)	変換する ・自動で Jw_cad の画面要素色と同じ色に変換、またはダイアログで設定した色番号で変換される。※2 参照 ・補助線図形は作成した線の色や変換時の設定に関わらず、補助線色に変換される。※3 参照
線 種	32 種類	8 種類 + 補助線種、 ランダム線種 5 種類、 倍長線種 4 種類、 SXF 対応拡張線種 15 種類、 ユーザー定義線種 16 種類	変換する ・自動で Jw_cad の画面表示線種と同じ線種に変換、またはダイアログで設定した線種番号に変換される。※4 参照 ・自動で変換する場合のみ、線種定義を変換する。 ・補助線図形は、作成した線の線種や変換時の設定に関わらず、補助線種に変換される。※3 参照
線 幅	16 種類または 256 種類 (線幅を色で指定する場合)	8 種類 + 拡張線幅 (0.01 mm～5.00 mm)	変換する ・[線幅を色で指定]している場合は、Jw_cad の線色 1 から線色 8 はそれぞれ同じ色の線幅に変換される。線色 1 から線色 8 と異なる色の線幅は、SXF 拡張線幅に変換される。 ・線幅を図形ごとに設定されている場合は、Jw_cad の線色 1 から線色 8 もしくは SXF 拡張線幅に変換される。

※1 DRA-CAD のレイヤ状態により、変換後の表示は以下のようになります。

DRA-CAD の状態		Jw_cad の状態
表示レイヤ		表示レイヤ
非表示レイヤ		非表示レイヤ
退避レイヤ		非表示レイヤ
ロックレイヤかつ表示レイヤ		表示のみレイヤ
ロックレイヤかつ非表示レイヤ		非表示レイヤ

※2 変換結果の詳細は、39 ページの「[カラー]タブの解説」を参照。

※3 「補助線」についての詳細は、14 ページの「補助線について」、39 ページの「補助線の変換について」を参照。

※4 変換結果の詳細は、45 ページの「[線種]タブの解説」を参照。

◆ 主な図形要素の比較

DRA-CAD の図形要素を、JWW ファイルに変換した場合の対応とルールを表にまとめると、以下のようになります。

DRA-CAD	
点	
線分（2次元・3次元）	
円・円弧	
補助線 ※1	線分補助線
	半直線補助線
	無限補助線
楕円・楕円弧	
寸法線図形	
引出線図形	
ポリライン	
拡張ポリライン	
スプライン	

Jw_cad へ変換後の図形要素
実点または仮点 ・ダイアログの設定により、実点に変換する、または仮点に変換する。
線分
円・円弧 ・ダイアログの設定により、円は点として変換できる。
補助線の属性が設定された線分
補助線の属性が設定された線分 ・作図したときの位置で補助線として変換される。
補助線の属性が設定された線分 ・作図したときの位置で補助線として変換される。
楕円・楕円弧
寸法線図形 ・寸法線図形設定で描いた寸法線に変換する。
それぞれの図形要素
線分・円弧・ソリッド図形 ・塗りつぶしがある場合は、外形線とソリッド図形に分かれる。 塗りの色はそのまま変換される。透明度は変換されない。 ※塗りつぶし図形のある書き出し時の説明は 29 ページ参照
線分・円弧・ソリッド図形 ・塗りつぶしがある場合は、外形線とソリッド図形に分かれる。 塗りの色はそのまま変換される。透明度は変換されない。 ・ハッチングを設定した拡張ポリラインは、ハッチングの項目を参照。
線分・ソリッド図形 ・塗りつぶしがある場合は、外形線とソリッド図形に分かれる。 塗りの色はそのまま変換される。透明度は変換されない。

DRA-CAD		Jw_cad へ変換後の図形要素	
ベジェ曲線		線分・ソリッド図形 ・塗りつぶしがある場合は、外形線とソリッド図形に分かれる。 塗りの色はそのまま変換される。透明度は変換されない。	
ハッチング	標準	線分・円弧 ・円の外形線は、半円に分割された円弧に変換される。	
	パターン		
	塗り	線分・円弧・ソリッド図形 ・塗りとグラデーション部分は、いくつかのソリッド図形に分かれる。 透明度は変換されない。	
	グラデーション		
	画像	線分・円弧・ソリッド図形 ・画像は変換されない。	
	網掛け	線分・円弧 ・網掛けは変換しない。	
文字	通常文字 ※3 参照	文字 ・DRA-CAD フォント⇒MS ゴシック (TrueType フォント) TrueType フォント⇒TrueType フォント テキストコードで入力した文字は、画面に表示された文字列に変換される(内部の情報は削除される)。 ・Unicode 文字は変換されない。※3 参照	
	マルチテキスト	文字 ・情報が異なる文字ごとに分解して変換される。	
	数値文字	文字 ・画面に表示された文字列に変換される(内部の情報は削除される)。 ※2 参照	
ブロック		それぞれの図形要素	
パッケージ		それぞれの図形要素	
シンボル		それぞれの図形要素	

※1 「補助線」についての詳細は、14 ページの「補助線について」、39 ページの「補助線の変換について」を参照。

※2 【面積文字記入】・【長さ文字記入】・【勾配文字記入】・【計算文字記入】コマンドで書かれた文字。

※3 【DRA-CAD の特別な文字の仕組み】

DRA-CAD では、「Unicode でしか表現できない文字」や「上付・下付・太字・斜体・下線・取消線」の表現を表示・印刷するための特別な記入の仕組みに「エスケープ文字」があります(エスケープ文字の入力方法については、9 ページの「エスケープ文字の入力」を参照)。

また、dracad 2025 から Unicode 文字に対応しました(「Unicode 文字」の変換については9 ページの「変換のアドバイス」を参照)。

【Jw_cad の特別な文字の仕組み】

Jw_cad では「上付・下付・太字・斜体・下線・取消線」は、独自の文字設定で特殊な文字を入力します。また、PL や CL は「重ね文字」という独自の文字設定で入力できます。

DRA-CAD では Jw_cad で設定された特殊な文字の一部に対応しています。詳細は8 ページの「変換できる特殊な文字の対応一覧」をご参照ください。



変換のアドバイス

Jw_cad に変換する場合は、「上付・下付・太字・斜体・下線・取消線」の文字を DRA-CAD の【文字記入】コマンドの「エスケープ文字」を使って入力してください(9 ページの「エスケープ文字の入力」を参照)。

変換できる特殊な文字の対応一覧

特殊文字	文字	DRA-CAD での入力	Jw_cad で変換後の表示
上付文字	m^3	文字{¥sup"文字"} 文字記入 m{¥sup"3"}	文字^u 文字 文字変更・移動 (4 / 4) m^u3
下付文字	A_2	文字{¥sub"文字"} 文字記入 A{¥sub"2"}	文字^d 文字 文字変更・移動 (4 / 4) A^d2
太字	ABC	{¥b"文字"} 文字記入 {¥b"ABC"}	^!文字 文字入力 (5 / 5) ^!ABC
斜体	<i>ABC</i>	{¥i"文字"} 文字記入 {¥i"ABC"}	^/文字 文字変更・移動 (5 / 5) ^/ABC
下線	<u>ABC</u>	{¥u"文字"} 文字記入 {¥u"ABC"}	^_文字 文字入力 (5 / 5) ^_ABC
取消線	~~ABC~~	{¥o"文字"} 文字記入 {¥o"ABC"}	^-文字 文字入力 (5 / 5) ^-ABC
Unicode 番号	ℒ	{¥uni"Unicode 番号"} 文字記入 {¥uni"214A"}	文字^b 文字 文字変更・移動 (4 / 4) P^bL

※DRA-CAD の Unicode 文字を Jw_cad の重ね文字に変換して、見た目が同じように読込めるのは「PL」
{¥uni"214A"}と「CL」 ({¥uni"2104"}) のみです。



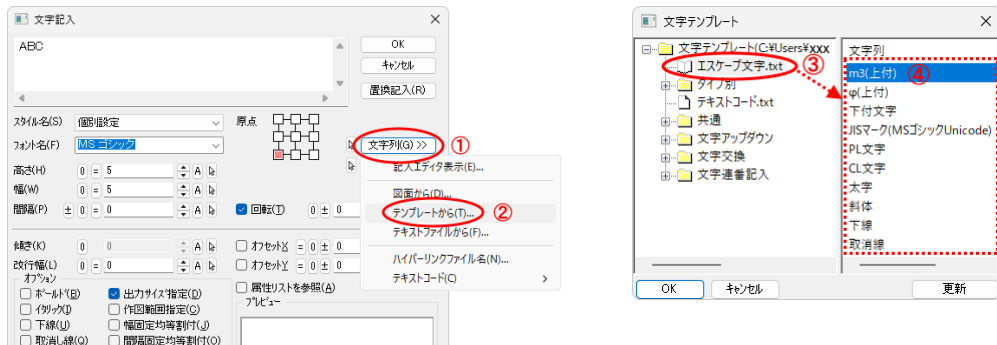
エスケープ文字の入力

Jw_cad に変換する場合、「上付・下付・太字・斜体・下線・取消線」や PL・CL の入力は、「エスケープ文字」を使って入力してください。

【文字記入】コマンドのエスケープ文字の入力

【文字記入】コマンドの[文字列]メニューにある、[テンプレートから]→「エスケープ文字.txt」を開きます。

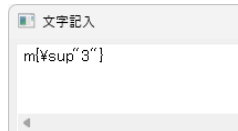
「上付・下付・太字・斜体・下線・取消線」や PL、CL の該当する項目を選択します。



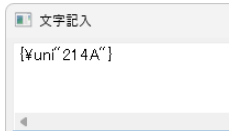
入力欄には選択したエスケープ文字が表示されます。画面に配置すると表示されます。

例: m{上付文字→文字¥sup"文字"}

例: ㊦(Unicode 文字→{¥uni"Unicode 番号"})



m^3



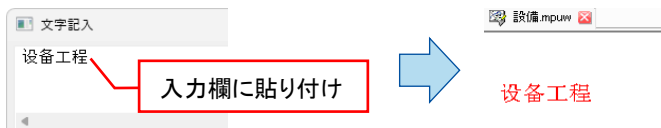
㊦



変換のアドバイス

Unicode 文字の入力 (dracad 2025 から Unicode の文字入力に対応)

ホームページなどから Unicode 文字をコピーして、【文字記入】コマンドの入力欄に貼り付け、画面に配置できます。



※Unicode の文字列をどのようにデータに格納するか、JWW ファイル形式の仕様が公開されていないため、Jw_cad で図面に書いた Unicode の文字列は、DRA-CAD では正常に変換できません。また、DRA-CAD で図面に書いた Unicode の文字列も、Jw_cad で表示されるように変換できません。

DRA-CAD	Jw_cad へ変換後の図形要素
画像(BMP 形式・JPEG・PNG・TIFF 形式) ※【画像挿入】コマンドで貼り付けた画像	画像(BMP 形式・JPEG・PNG・TIFF 形式) ・Jw_cad は初期状態では BMP 形式のみ表示される。 ・変換時に BMP 形式に変換して保存する、または元の形式のまま保存する。透明度は変換されない。 ・画像を JWW ファイル内に保存しない場合、画像ファイルも渡す必要がある。 ※4 参照
オーバーレイ	それぞれの図形要素 ・ダイアログの設定により、オーバーレイをそれぞれの図形要素に分解して変換する、または変換しない。
レイアウト	レイアウトを分解して JWW ファイルとして保存 ・ダイアログの設定により、レイアウトを分解して JWW ファイルとして保存できる、または変換しない。
ラベル	文字
旧寸法線	寸法線図形 ・足と寸法止めはそれぞれの図形要素に変換される。
旧引出線	それぞれの図形要素
変換しない図形	
OLE オブジェクト ※5 参照、リンクアイテム	

※4 ・DRA-CAD は画像の縦横変倍にも対応していますが、JWW 形式への保存では対応していません。

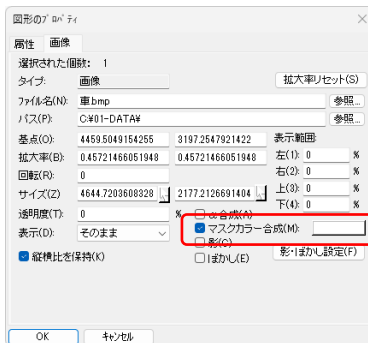
変換する前に、図形のプロパティで 1 : 1 の画像にして変換してください。

(縦横変倍にしたい場合は、画像編集ソフトなどでサイズを変更して、変換時に 1 : 1 で変換してください。)

DRA-CAD



DRA-CAD で画像にマスクカラー合成を設定している場合、Jw_cad の透過色に変換されます。



Jw_cad



※5 【オブジェクトの図形化】コマンドで、図形や画像にすることで変換できます。

変換のアドバイス

複数のファイルを一括して変換したい場合は、以下の2つの方法があります。

一括変換

【一括変換】コマンドで変換できます。ただし、変換時の個別の設定はできません。※参照
ドキュメントパレット

ドキュメントパレットの[ファイル形式を変換]で変換できます。変換時の設定は「名前をつけて保存」する場合と同様にできます。ただし、ファイルごとに異なる設定はできません。※参照

※個別の設定やファイルごとに異なる設定が必要な場合は、個別に【名前をつけて保存】または【DWG 保存】、【DXF 保存】コマンドで行ってください。

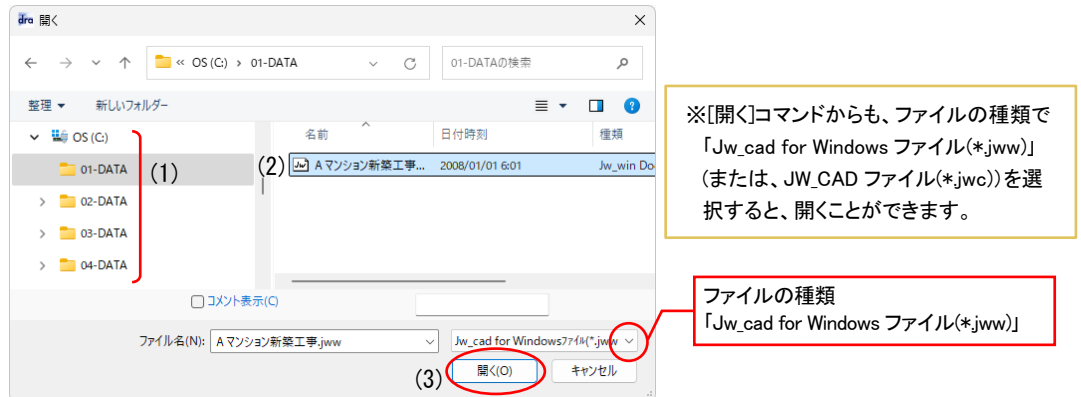
2. JWW ファイルの読み込み

ここでは、Jw_cad の JWW ファイルを DRA-CAD で読み込み時の設定について説明します。

1. JWW ファイルを DRA-CAD で読み込む

ファイルメニュー → [読み込み] → [JWW 読み込み]を実行します。

2. 開くダイアログが表示される



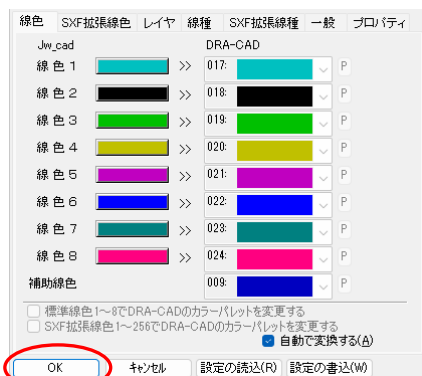
(1) JWW ファイルが保存されているドライブ、フォルダーを指定します。

(2) ファイルを選択します。

(3) [開く]ボタンをクリックします。

3. JWW 読み込みダイアログが表示される

[OK]ボタンをクリックすると、JWW ファイルを読み込みます。



※変換方法を指定したい場合は、それぞれのタブで設定を行ってから読み込んでください。

〔線色〕タブの解説

〔線色〕タブの設定について説明します。

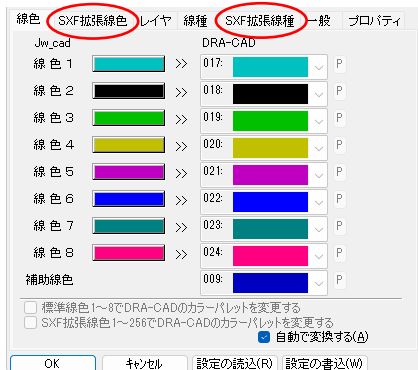
〔線色〕タブと〔SXF 拡張線色〕タブにあるチェックボックスは共通で連動しており、どちらか一方だけを有効または無効にはできません。



〔SXF 拡張線色〕タブ、〔SXF 拡張線種〕タブは Ver.4.20 以降の JWW ファイルを読み込む場合に表示されます。

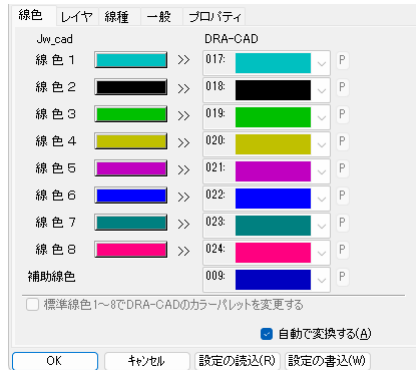
Ver.4.20 以降ファイルを読み込む場合

〔SXF 拡張線色〕、〔SXF 拡張線種〕タブが表示される



Ver.4.1a 以前の JWW ファイルを読み込む場合

〔SXF 拡張線色〕、〔SXF 拡張線種〕タブは表示されない



① 自動で変換する

[☒ 自動で変換する]の場合

JWW ファイルの線色定義を読み込み、Jw_cad 上での画面表示と同じ色合いで表示されるように自動で変換します。



2. JWW ファイルの読み込み

以下のように、変換されます。

Jw_cad	DRA-CAD
線色 1	カラー番号 001
線色 2	カラー番号 002
線色 3	カラー番号 003
線色 4	カラー番号 004
線色 5	カラー番号 005
線色 6	カラー番号 006
線色 7	カラー番号 007
線色 8	カラー番号 008
補助線色	カラー番号 009 (補助線色)

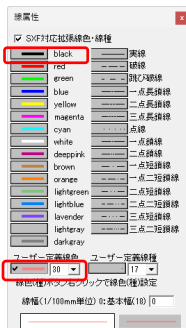
Jw_cad (SXF 対応拡張線色)	DRA-CAD
black	カラー番号 010 (black)
red	カラー番号 011 (red)
green	カラー番号 012 (green)
blue	カラー番号 013 (blue)
yellow	カラー番号 014 (yellow)
magenta	カラー番号 015 (magenta)
cyan	カラー番号 016 (cyan)
white	カラー番号 017 (white)
deeppink	カラー番号 018 (deeppink)
brown	カラー番号 019 (brown)
orange	カラー番号 020 (orange)
lightgreen	カラー番号 021 (lightgreen)
lightblue	カラー番号 022 (lightblue)
lavender	カラー番号 023 (lavender)
lightgray	カラー番号 024 (lightgray)
darkgray	カラー番号 025 (darkgray)
ユーザー定義色 17~247 設定した色	カラー番号 026~256 (設定した名称)
ユーザー定義色 248~256	カラー番号 001

POINT!

Jw_cad の補助線色は基本設定に依存しており、JWW ファイルには保存されないため、図面の背景色が黒色に近い白色に近いかで Jw_cad の基本設定の初期設定色にします。ここでは、背景色が白色で説明しています。SXF 拡張線色 248 番以降が使われている場合は、DRA-CAD のカラーパレット定義数を超えるため、すべて 1 番のカラーにして、読み込み後メッセージを表示します。

例：SXF 対応拡張線色 black はカラー番号 10 番、ユーザー定義線色 30 番は 39 番、カラー名称は名前の欄に設定されます。

Jw_cad「線属性」ダイアログ



DRA-CAD「カラー設定」ダイアログ



SXF 対応拡張線色名

ユーザー定義線色名

Jw_cad 側で設定している
ユーザー定義線色



変換のアドバイス

読み込んだ JWW ファイルを再度 JWW ファイル形式で書き出す場合は、これらの「カラー番号」、「カラー名称」を変更しないでください。Jw_cad で読み込んだ場合に表示色が再現されなくなります。

- ・「2点間の長さを指定して描く線分補助線」
- ・「1点目から2点目を通る片側に無限に延びる半直線補助線」
- ・「1点目と2点目を通る両端に無限に延びる無限補助線」

補助線の属性が設定されていると、作図画面には表示されますが、印刷されない線分・図形として作図できます。

※変換後の図形要素については、2 ページの「**■主な図形要素の比較**」の「DRA-CAD へ変換後の図形要素」で、確認
できます。

一般(1) 一般(2) **色・画面** 各種 文字 AUTO KEY DXF-SXF-JWC

色・画面設定 色要素(0~255) 画面線幅(1~16) プリント出力線幅(1~500)
 画面線幅設定 プリント出力要素

画面要素					画面線幅					プリント出力要素						
	赤	緑	青	線幅		赤	緑	青	線幅	点半径		赤	緑	青	線幅	点半径
緑色 1	0	192	192	1	緑色 1	0	255	255	2	0.13	緑色 1	0	255	255	2	0.13
緑色 2	0	0	0	1	緑色 2	0	0	0	2	0.18	緑色 2	0	0	0	2	0.18
緑色 3	0	192	0	1	緑色 3	0	255	0	3	0.25	緑色 3	0	255	0	3	0.25
緑色 4	192	192	0	1	緑色 4	255	255	0	4	0.35	緑色 4	255	255	0	4	0.35
緑色 5	192	0	192	1	緑色 5	255	0	255	6	0.5	緑色 5	255	0	255	6	0.5
緑色 6	0	0	255	1	緑色 6	0	0	255	8	0.7	緑色 6	0	0	255	8	0.7
緑色 7	0	128	128	1	緑色 7	0	128	128	12	1	緑色 7	0	128	128	12	1
緑色 8	255	0	128	1	緑色 8	255	0	0	17	1.4	緑色 8	255	0	0	17	1.4
グレー	192	192	192		グレー	192	192	192	線幅: 300dpi							
補助緑色	255	128	255	1												
温沢色	255	0	255													
仮表示色	255	0	0													

画面背景色、X-Y座標(7023x71) 緑色要素

	背景色	X座標	Y座標
背景色	255	255	255
X-Y座標	128	128	128

文字色

☐ 実点を指定半径で画面に描画(最大100ドット) ☒ 実点を指定半径(mm)でプリント出力

☐ 線幅を表示倍率に比例して描画(☐ 印刷時に ☐ 線幅を1/100mm単位とする) dpi切替

端点の形状 **丸** 線幅の最大幅(1~100dot)or線幅の単位(1/10mm: 1~100) **100**

色彩の初期化 背景色: 白 背景色: 黒 背景色: 深緑 プリント出力色 線幅

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

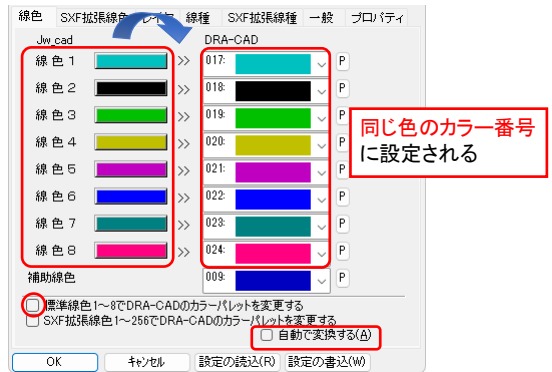
② 標準線色1～8を DRA-CAD のカラー番号、またはカラーパレットに設定する

[☐ 自動で変換する]の場合[☒ 標準線色1～8で DRA-CAD のカラーパレットを変更する]

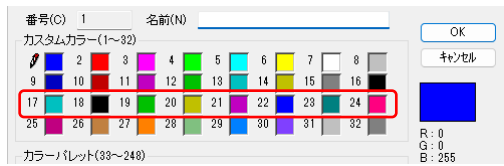
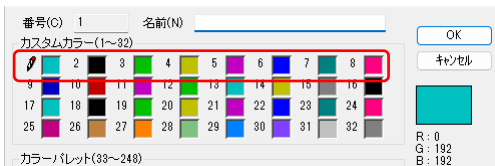
JWW ファイルのカラーパレットにあわせて、
DRA-CAD のカラーパレットが変更され、
1 番から 8 番が同じ番号に変換されます。

[☐ 標準線色1～8で DRA-CAD のカラーパレットを変更する]

Jw_cad の 1 番から 8 番が、DRA-CAD と同じ色
のカラー番号に変換されます。



DRA-CAD「カラー設定」ダイアログ



Jw_cad	DRA-CAD ☒ 標準線色 1 ～ 8 で変換
線色 1	カラー番号 001
線色 2	カラー番号 002
線色 3	カラー番号 003
線色 4	カラー番号 004
線色 5	カラー番号 005
線色 6	カラー番号 006
線色 7	カラー番号 007
線色 8	カラー番号 008
補助線色	カラー番号 009

Jw_cad	DRA-CAD ☐ 標準線色 1 ～ 8 で変換
線色 1	カラー番号 017
線色 2	カラー番号 018
線色 3	カラー番号 019
線色 4	カラー番号 020
線色 5	カラー番号 021
線色 6	カラー番号 022
線色 7	カラー番号 023
線色 8	カラー番号 024
補助線色	カラー番号 009

※[一般]タブで[☒ 補助線を補助線図形として変換する]の場合（初期値）、補助線を補助線図形として変換します(詳細は、14 ページの「補助線の変換について」を参照)。

〔SXF拡張線色〕タブの解説

〔SXF 拡張線色〕タブの設定について説明します。

〔線色〕タブと〔SXF 拡張線色〕タブにあるチェックボックスは共通で、連動しています。どちらか一方だけを有効または無効にはできません。

※詳細は、「〔線色〕タブの解説」「①自動で変換する」を参照。

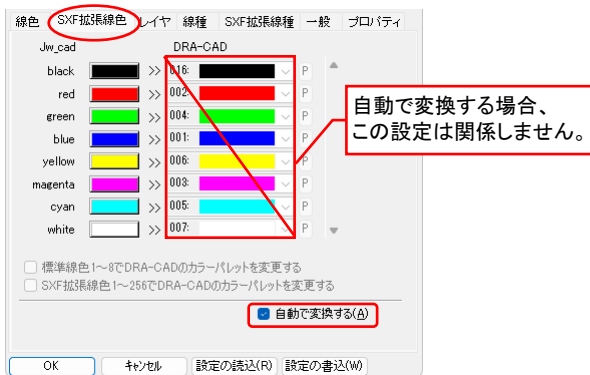
※〔SXF 拡張線色〕タブは Ver.4.20 以降の JWW ファイルを読み込む場合にのみ表示されます。

※色についての詳細は、18 ページの「DRA-CAD と Jw_cad のカラー対応について」を参照。

① 自動で変換する

〔☒ 自動で変換する〕の場合

Jw_cad と同じ色にできるだけ表示されるように、自動で変換します。

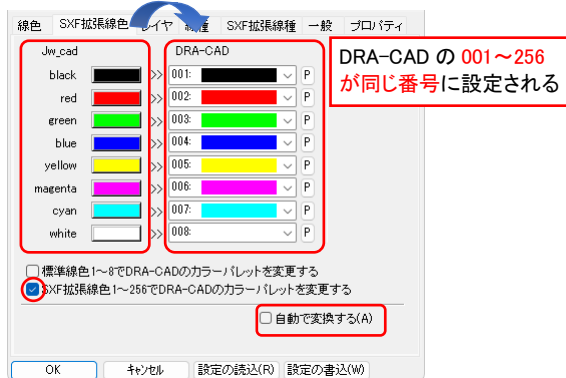


② SXF 拡張線色 1～256 を DRA-CAD のカラー番号、またはカラーパレットに設定する

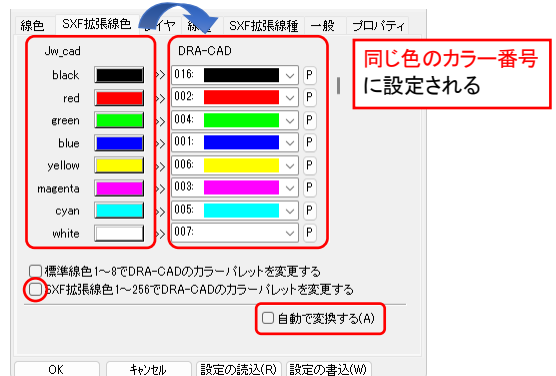
[☐ 自動で変換する] の場合[☒ SXF 拡張線色 1～256 で DRA-CAD のカラーパレットを変更する]

SXF 拡張線色のカラーパレットに合わせて、DRA-CAD のカラーパレットが変更され、1 番から 256 番が同じ番号に変換されます。

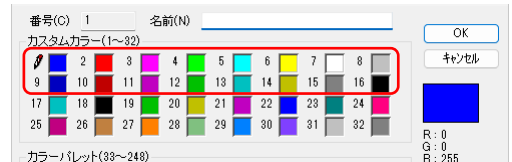
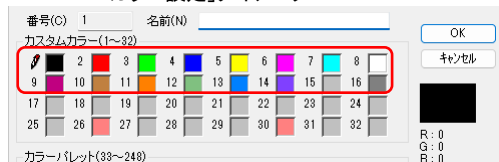
変更する場合は、右側の ☒ ボタンをクリックしてリストから設定します。

[☐ SXF 拡張線色 1～256 で DRA-CAD のカラーパレットを変更する]

Jw_cad の SXF 拡張線色が、DRA-CAD と同じ色のカラー番号に変換されます。



DRA-CAD「カラー設定」ダイアログ



Jw_cad	DRA-CAD ☒ SXF 拡張線色で変換
black	カラー番号 001
red	カラー番号 002
green	カラー番号 003
blue	カラー番号 004
yellow	カラー番号 005
magenta	カラー番号 006
cyan	カラー番号 007
white	カラー番号 008
deeppink	カラー番号 009
brown	カラー番号 010
orange	カラー番号 011
lightgreen	カラー番号 012
lightblue	カラー番号 013
lavender	カラー番号 014
lightgray	カラー番号 015
darkgray	カラー番号 016
ユーザー定義 線色	カラー番号 017～256

Jw_cad	DRA-CAD ☐ SXF 拡張線色で変換
black	カラー番号 016
red	カラー番号 002
green	カラー番号 004
blue	カラー番号 001
yellow	カラー番号 006
magenta	カラー番号 003
cyan	カラー番号 005
white	カラー番号 007
deeppink	カラー番号 025
brown	カラー番号 026
orange	カラー番号 027
lightgreen	カラー番号 028
lightblue	カラー番号 029
lavender	カラー番号 030
lightgray	カラー番号 031
darkgray	カラー番号 032
ユーザー定義 線色	カラー番号 009～248

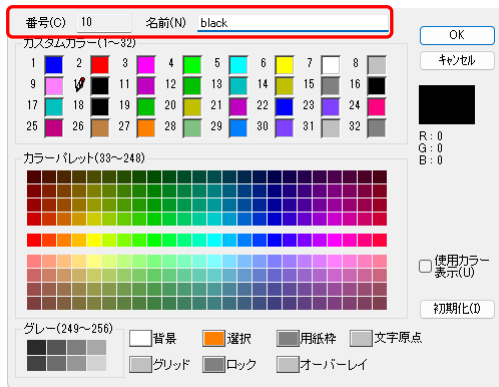
? DRA-CAD と Jw_cad のカラー対応について

標準で設定されている「色」は CAD ソフトによって異なります。例えば、DRA-CAD のカラー番号 1 番は「青色」、Jw_cad の線色番号 1 番は背景色が白の場合は「濃い水色」、背景色が黒の場合は「水色」になります。

? DRA-CAD のカラーについて

DRA-CAD は、256 種類のカラーがあり、カラー番号の 1 番から 256 番に標準のカラーが初期値で設定されています。必要に応じてオリジナルのカラーを作成できるようになっています。色番号ごとにわかりやすく名前を設定できます。

DRA-CAD「カラー設定」ダイアログ。



? Jw_cad の線色について

Jw_cad は、8 種類 + 補助線色、SXF 対応拡張線色 (固定 16 色 + 240 色) があります。補助線は、作図画面には表示されますが、印刷されない属性を持った図形を設定できます。

[☒ SXF 対応拡張線色・線種] にすると、SXF ファイルに対応した線色になります。

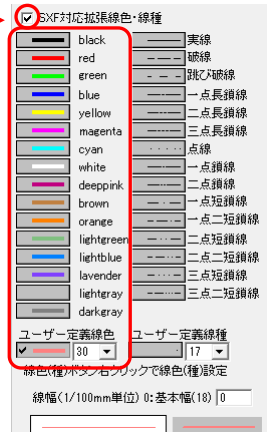
Jw_cad「線属性」ダイアログ



標準線色

「線色 1」 (濃い水色)
 「線色 2」 (黒)
 「線色 3」 (濃い緑色)
 「線色 4」 (濃い黄色)
 「線色 5」 (濃い紫色)
 「線色 6」 (青)
 「線色 7」 (緑)
 「線色 8」 (ぼたん色)
 「補助線色」 (薄い紫色)

[☒ SXF 対応拡張線色・線種]



〔レイヤ〕タブの解説

〔レイヤ〕タブの設定について説明します。

JWW ファイルの「レイヤ」、「レイヤグループ」に対する、DRA-CAD の「レイヤ」、「グループ」を個別に設定します。

※レイヤグループ、レイヤについての詳細は、20 ページの「レイヤ、グループ、レイヤグループの変換について」を参照。

緑色 SXF拡張緑色 レイヤ 線種 SXF拡張線種 一般 プロパティ

レイヤ (Jw_cad -> DRA-CAD)

0-0	>>	1
0-1	>>	2
0-2	>>	3
0-3	>>	4
0-4	>>	5
0-5	>>	6
0-6	>>	7
0-7	>>	8
0-8	>>	9
0-9	>>	10

レイヤグループ (Jw_cad -> DRA-CAD)

0	>>	1000
1	>>	2000
2	>>	3000
3	>>	4000
4	>>	5000
5	>>	6000
6	>>	7000
7	>>	8000
8	>>	9000
9	>>	10000

Jw_cad のレイヤグループ番号 (0～F の 16 種類) を、DRA-CAD の何番グループに読み込むかを個別に設定できます。

Jw_cad のレイヤ番号を、DRA-CAD の何番レイヤに読み込むかを個別に設定できます。

OK キャンセル 設定の読み込み(R) 設定の書き出し(W)

① Jw_cad のレイヤ番号を DRA-CAD のレイヤ番号に設定する

Jw_cad の 256 種類の「レイヤ」に対する DRA-CAD の「レイヤ番号」を、右側の入力欄で個別に設定できます。初期値では、以下のように変換されます。

Jw_cad	DRA-CAD
レイヤ 0-0	レイヤ番号 1
レイヤ 0-1	レイヤ番号 2
レイヤ 0-2	レイヤ番号 3
(途中省略)	
レイヤ F-E	レイヤ番号 255
レイヤ F-F	レイヤ番号 256

初期値は、Jw_cad のレイヤ 0-0 番から F-F 番の順に、DRA-CAD のレイヤ 1 番から 256 番が設定されます。

変更する場合は、☒ ボタンをクリックしてリストから設定します。

② Jw_cad のレイヤグループ番号を DRA-CAD のグループ番号に設定する

Jw_cad の「16 種類のレイヤグループ番号」に対する DRA-CAD のグループ番号を右側の入力欄で個別に設定できます。初期値では、以下のように変換されます。

Jw_cad	DRA-CAD
レイヤグループ 0	グループ番号 1000
レイヤグループ 1	グループ番号 2000
レイヤグループ 2	グループ番号 3000
(途中省略)	
レイヤグループ E	グループ番号 15000
レイヤグループ F	グループ番号 16000

初期値では、Jw_cad のレイヤグループ 0 番から F 番の順に、DRA-CAD のグループ 1000 番から 1000 番ピッチで設定されます。変更する場合は、ダブルクリックして数値を入力します。

例: Jw_cad の「レイヤグループ 0 番」に DRA-CAD の「グループ 1000 番」を設定
Jw_cad の「0-0」レイヤから「0-F」レイヤの 16 種類のレイヤに所属する、すべての図形のグループ番号が、DRA-CAD のグループ 1000 番に設定されます。



レイヤ、グループ、レイヤグループの変換について

DRA-CAD では、レイヤが 0 番～256 番の計 257 枚あります。グループが 0 番～65535 番の計 65536 種類あり、レイヤとグループを別の属性として区別しています。

Jw_cad では、16 枚のレイヤを 1 つのグループとし、それを 16 グループ持つ構成で、16 グループ×16 レイヤの計 256 枚のレイヤを持っていることになります。このグループのことを「レイヤグループ」と表現しています。

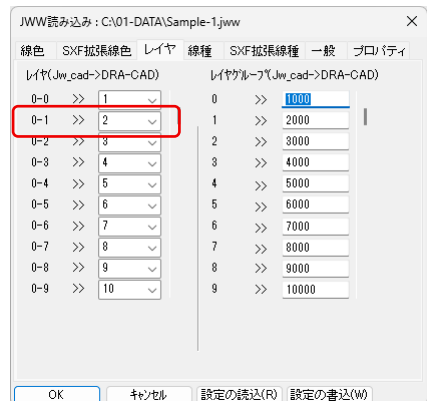
「指定レイヤグループ-指定レイヤ」で表し、「レイヤグループ 0」の中の「レイヤ 1」は、「0-1」レイヤと表します。

これが DRA-CAD の「レイヤ番号」にあたります。

例: Jw_cad の「0-1」レイヤを DRA-CAD の「2」レイヤに読み込む

Jw_cad		DRA-CAD
レイヤ (レイヤグループ-レイヤ)	→	レイヤ番号
レイヤグループ番号	→	グループ番号
レイヤ名	→	レイヤ名
グループ名	→	グループ名

※グループ名称は、DRA-CAD の【レイヤグループ設定】コマンドで確認できます。



変換のアドバイス

記入縮尺について

Jw_cad ではレイヤグループ単位で縮尺を設定します。JWW ファイルを読み込むと、Jw_cad の「レイヤグループ 0」番の縮尺を DRA-CAD の「図面縮尺」、「記入縮尺」として変換します。

Jw_cad で設定された情報は DRA-CAD の【レイヤグループ設定】コマンドと「Jw レイヤパレット」に読み込まれます。

【レイヤグループ設定】コマンドと「Jw レイヤパレット」の両方で「記入縮尺」を設定できます。

<注意点>

JWW ファイルを読み込み、片方のコマンドで「記入縮尺」を変更した場合、もう一方には反映されないため、以下の点にご注意ください。

➤ 記入縮尺の設定

片方の「記入縮尺」を変更した場合、操作した側のコマンドにのみ適用されます。両方を同じ設定にする、または「記入縮尺」を使う場合は、変更した方のコマンドで操作してください。

➤ Jw_cad への書き出し (dracad 2025 以降)

Jw レイヤパレットを表示した状態で、JWW 保存を行った場合、「Jw レイヤパレット」で設定した記入縮尺で保存されます。

Jw レイヤパレットを表示していない状態で、JWW 保存を行った場合、「レイヤグループ設定」コマンドで設定した縮尺で保存されます。

※「Jw レイヤパレット」は dracad 2025 から追加された機能です。

➤ DRA-CAD のファイル形式で保存時の注意

「Jw レイヤパレット」の縮尺情報を保持するためには、以下の形式で保存する必要があります。

保存形式: dracad 2025 以降の MPUW, MPS, MPZ のいずれかで保存

※【レイヤパレット】コマンドについては、次のページを参照。

※【レイヤグループ設定】コマンドについては、「4. 補足 【レイヤグループ設定】コマンドについて」を参照。



Jw レイヤパレットについて

【Jw レイヤパレット】は、Jw_cad と同じような操作で、dracad のレイヤの表示状態を切り替えることができます。また、グループごとに記入縮尺を設定できます。

◆ レイヤパレットを表示する

【Jw レイヤパレット】は、メニューバーの右にある「パレット」→「Jw レイヤパレット」にチェックを入れることで表示されます。チェックを外すと非表示になります。パレットをドラッグして自由な位置に配置できます。

番号を**左クリック**すると、表示→非表示→グレーの順に切り替える。

(1)	表示
なし	非表示
1	グレー

番号を**右クリック**すると、書き込みレイヤ、または書き込みレイヤグループに設定される。

書き込みレイヤグループのときに番号を**右クリック**すると、グループ設定ダイアログが表示され、名称と記入縮尺を設定できる。

JWW ファイルを読み込んだ場合は、レイヤグループの情報や設定された記入縮尺も読み込めます。

グループ設定

グループ名称(N)
008

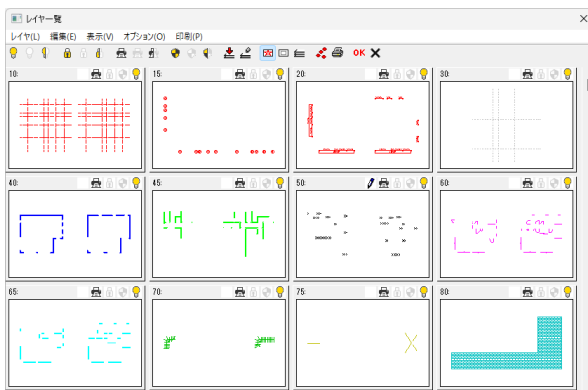
記入縮尺(S)
1/ 100

OK キャンセル

◆ レイヤグループ一覧について

Jw_cad では、レイヤまたはレイヤグループ番号で再度右クリックすると、「レイヤグループ一覧」が表示されます。Jw_cad の「レイヤグループ一覧」と同等の機能として、dracad では【レイヤー一覧】コマンドが別にあります。レイヤの表示状態の設定やレイヤ名の設定などが行えます。

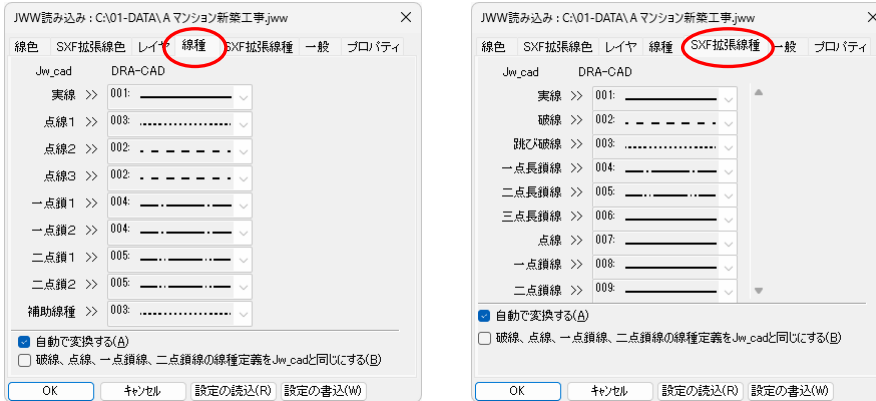
[レイヤ]メニュー→[状態]パネル→[レイヤー一覧]で実行します。



〔線種〕タブの解説

〔線種〕タブの設定について説明します。

〔線種〕タブと〔SXF 拡張線種〕タブにあるチェックボックスは、共通で連動しています。どちらか一方だけを有効または無効にはできません。

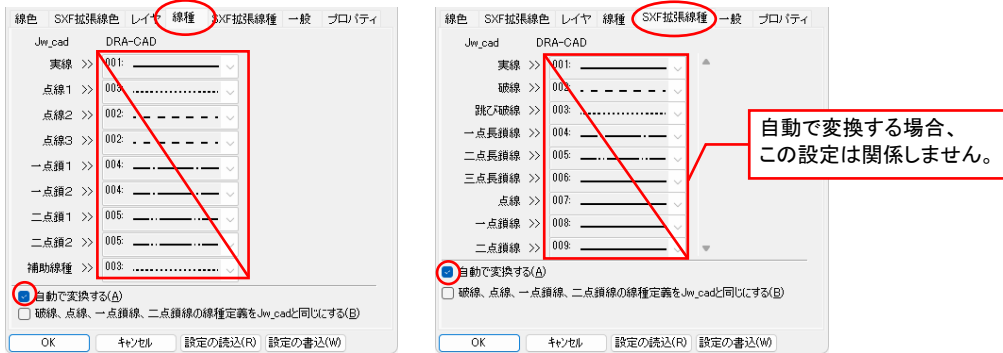


※線種についての詳細は、27 ページの「線種について」を参照。

① 自動で変換する

〔☒ 自動で変換する〕の場合

Jw_cad の線種定義を自動的に変換します。



Jw_cad の標準線種、補助線種、ランダム線種、倍長線種、SXF 対応拡張線種を区別して別の線種となるように自動的に変換します。初期値では、以下のように変換されます。

Jw_cad	DRA-CAD(線種)	線種名
実線	線種番号 001 (実線)	実線
点線 1	線種番号 003 (点線)	点線 1
点線 2	線種番号 002 (破線)	点線 2
点線 3	線種番号 006 (点線)	点線 3
一点鎖線 1	線種番号 007 (一点鎖線)	一点鎖線 1
一点鎖線 2	線種番号 004 (一点鎖線)	一点鎖線 2
二点鎖線 1	線種番号 008 (二点鎖線)	二点鎖線 1
二点鎖線 2	線種番号 005 (二点鎖線)	二点鎖線 2
補助線種	線種番号 009 (破線)	補助線種

ランダム線種、倍長線種は、以下のように変換されます。

Jw_cad	DRA-CAD(線種)	線種名
①ランダム線	(実線)	ランダム線 1
②ランダム線	(実線)	ランダム線 2
③ランダム線	(実線)	ランダム線 3
④ランダム線	(実線)	ランダム線 4
⑤ランダム線	(実線)	ランダム線 5
⑥倍長線種	(一点鎖線)	倍長線 1
⑦倍長線種	(二点鎖線)	倍長線 2
⑧倍長線種	(破線)	倍長線 3
⑨倍長線種	(破線)	倍長線 4

カスタマイズされた標準線種や SXF 対応拡張線種の線種ピッチも再現します。読み込まれたデータは、自動的に線種定義名が設定されます。

線種定義が DRA-CAD で設定できる 32 種類を超える場合は、すべて実線へ変換します。

※[一般]タブで[☒ 補助線を補助線図形として変換する]の場合（初期値）、補助線を補助線図形として変換します（詳細は、14 ページの「補助線の変換について」を参照）。



変換のアドバイス

読み込んだ JWW ファイルを再度 JWW ファイル形式で保存する場合は、これらの「線種定義名」を変更しないでください。Jw_cad 上で再現できなくなります。

[☒ 破線、点線、一点鎖線、二点鎖線の線種定義を Jw_cad と同じにする]の場合

[☒ 自動で変換する]の場合に選択できます。DRA-CAD の破線、点線、一点鎖線、二点鎖線の線種定義を Jw_cad と同じにします。

POINT!

初期状態では、DRA-CAD と Jw_cad の破線、点線、一点鎖線、二点鎖線の線種ピッチが異なります。
[破線、点線、一点鎖線、二点鎖線の線種定義を Jw_cad と同じにする]は、Jw_cad と同じ線種ピッチで印刷したい場合に☒します。

また、初期値の線種定義の数が異なります。

- ・DRA-CAD では、点線、破線、一点鎖線、二点鎖線は、それぞれ 1 種類の定義があります。
- ・Jw_cad では、点線（3 種類）、一点鎖線（2 種類）、二点鎖線（2 種類）と、同じ線種でも複数の定義を持っています。

一点鎖線や点線などで複数の種類がある JWW データを読み込んだ場合は、画面での表示が実線になるものがあります。印刷時には一点鎖線や点線で印刷されますが、画面上でも一点鎖線や点線として表示したい場合は、DRA-CAD で「印刷状態」で表示してください。

※「印刷状態」で表示するには、ステータスバーにある【表示設定】コマンド、または【環境設定】コマンド-「表示」-「全般」で設定できます。

② Jw_cad の線種を DRA-CAD の線種番号に設定する

[☐ 自動で変換する]の場合

Jw_cad の線種を DRA-CAD の線種番号に個別に設定することができます。

初期値では、以下のように変換されます。

変更する場合は右側の ☒ ボタンをクリックしてリストから変更します。

Jw_cad	DRA-CAD
実線	線種番号 001 (実線)
点線 1	線種番号 003 (点線)
点線 2	線種番号 002 (破線)
点線 3	線種番号 002 (破線)
一点鎖 1	線種番号 004 (一点鎖線)
一点鎖 2	線種番号 004 (一点鎖線)
二点鎖 1	線種番号 005 (二点鎖線)
二点鎖 2	線種番号 005 (二点鎖線)
補助線種	線種番号 003 (点線)

ランダム線種、倍長線種には対応していません。ランダム線種、倍長線種は、2 番～10 番の線種番号に割り当てられます。

線種定義が DRA-CAD で設定できる 32 種類を超える場合は、すべて実線へ変換します。

※[一般]タブで[☒ 補助線を補助線図形として変換する]の場合（初期値）、補助線を補助線図形として変換します（詳細は、14 ページの「補助線の変換について」を参照）。

〔SXF拡張線種〕タブの解説

〔SXF 拡張線種〕タブの設定について説明します。

〔線種〕タブと〔SXF 拡張線種〕タブにあるチェックボックスは共通で、連動しています。

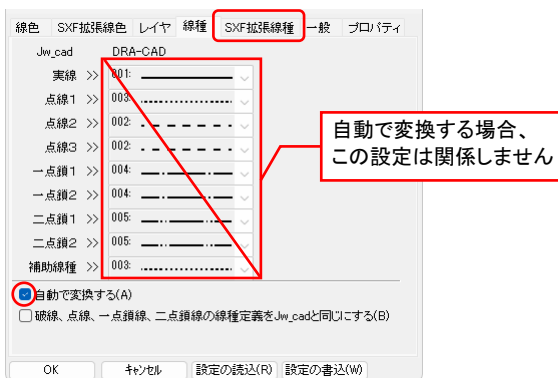
※詳細については、「〔線種〕タブの解説 ①自動で変換する」を参照。

※線種についての詳細は、27 ページの「線種について」を参照。

① 自動で変換する

〔☒ 自動で変換する〕の場合

Jw_cad の標準線種、補助線種、ランダム線種、倍長線種、SXF 対応拡張線種を区別して別の線種となるように変換します。

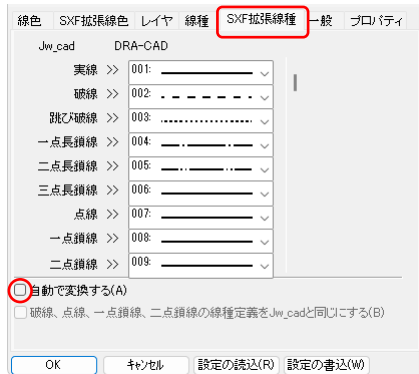


Jw_cad	DRA-CAD (線種)	線種名
実線	(実線)	continuous
破線	(破線)	dashed
跳び破線	(破線)	dashed spaced
一点長鎖線	(一点鎖線)	long dashed dotted
二点長鎖線	(二点鎖線)	long dashed double-dotted
三点長鎖線	(二点鎖線)	long dashed triplicate-dotted
点線	(点線)	dotted
一点鎖線	(一点鎖線)	chain
二点鎖線	(二点鎖線)	chain double dash
一点短鎖線	(一点鎖線)	dashed dotted
一点二短鎖線	(一点鎖線)	double-dashed dotted
二点短鎖線	(二点鎖線)	dashed double-dotted
二点二短鎖線	(二点鎖線)	double-dashed double-dotted
三点短鎖線	(二点鎖線)	dashed triplicate-dotted
三点二短鎖線	(二点鎖線)	double-dashed triplicate-dotted

② Jw_cad の SXF 対応拡張線種を DRA-CAD の線種番号に設定する

[☐ 自動で変換する]の場合

Jw_cad の SXF 対応拡張線種を DRA-CAD の線種番号に設定します。



初期値では、以下のように変換されます。

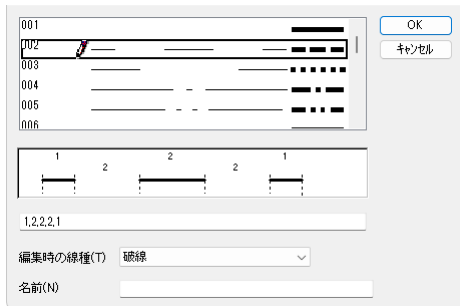
変更する場合は右側の ☒ ボタンをクリックしてリストから変更します。

Jw_cad	DRA-CAD
実線	線種番号 001 (実線)
破線	線種番号 002 (破線)
跳び破線	線種番号 003 (点線)
一点長鎖線	線種番号 004 (一点鎖線)
二点長鎖線	線種番号 005 (二点鎖線)
三点長鎖線	線種番号 006
点線	線種番号 007
一点鎖線	線種番号 008
二点鎖線	線種番号 009
一点短鎖線	線種番号 010
一点二短鎖線	線種番号 011
二点短鎖線	線種番号 012
二点二短鎖線	線種番号 013
三点短鎖線	線種番号 014
三点二短鎖線	線種番号 015
undefined	線種番号 016
(途中省略)	
undefined	線種番号 032

? 線種について

DRA-CAD の線種は、32 種類あり線種番号の 1 番から 5 番に、標準の線種 5 種類が設定されています。
6 番から 32 番には「実線」が設定されており、必要に応じてオリジナルパターンの線種を作成できます。
【線種の設定】コマンドで、線種ピッチはカスタマイズできます。

[DRA-CAD の線種]



標準線種

「001 番:実線」
「002 番:破線」
「003 番:点線」
「004 番:一点鎖線」
「005 番:二点鎖線」

Jw_cad の線種は、標準線種 8 種類 + 補助線種、ランダム線 5 種類、倍長線種 4 種類、SXF 対応拡張線種 15 種類、ユーザー定義線種 16 種類があります。

[☒ SXF 対応拡張線色・線種]にすると、SXF 対応拡張線種が設定できます。

Jw_cad の「線属性」ダイアログ



標準線種

標準線種

「実線」
「点線 1」
「点線 2」(2 倍ピッチの点線)
「点線 3」(3 倍ピッチの点線)
「一点鎖 1」
「一点鎖 2」(2 倍ピッチの一点鎖線)
「二点鎖 1」
「二点鎖 2」(2 倍ピッチの二点鎖線)
「補助線種」

「ランダム線:5種類」「倍長線種:4種類」
※拡張線種は、標準線種とは別の属性を持った特殊な線種になります。

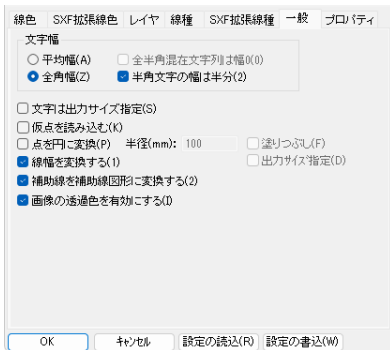
SXF 対応拡張線種

ユーザー定義線種



〔一般〕タブの解説

〔一般〕タブの設定について説明します。

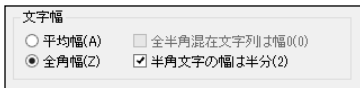


① 文字幅

Jw_cad のすべての文字列を対象に、DRA-CAD で読み込み時の〔文字幅〕の設定が行えます。

💡 変換のアドバイス

推奨の設定は〔☒ 全角幅〕、〔☒ 半角文字の幅は半分〕です。
下記の設定で変換してください。



〔平均幅〕

Jw_cad で書かれた一行の文字列の全体の長さを文字数で割り一文字分の幅を計算し、DRA-CAD の〔文字幅〕に設定します。この設定で読み込むと、文字列の長さは同じになりますが、文字の幅や間隔の値は変更されます。

平均幅で変換した場合の Jw_cad と DRA-CAD の文字幅の違いの例

Jw_cad で文字サイズが、〔文字高さ=10mm〕〔文字幅=10mm〕〔文字間隔=0mm〕で、「全角だけの文字列」、「半角だけの文字列」、「全角と半角が混在した文字列」の文字を書き保存します。

そのファイルを DRA-CAD で〔平均幅〕を設定して読み込んだ例です。

Jw_cad の文字幅=10mm		DRA-CAD の文字幅は以下参照		
全角だけの文字列	ABC	ABC	10mm	Jw_cad の文字幅と同じ
半角だけの文字列	ABC	ABC	5mm	Jw_cad の文字幅の半分
全角・半角が混在した文字列	ABCAB	ABCAB	8mm	$10\text{mm} \times 3 \text{ 文字} + 5\text{mm} \times 2 \text{ 文字} = 40\text{mm}$ $40\text{mm} \div 5 \text{ 文字} = 8\text{mm}$

※この設定で JWW ファイルを読み込むと、Jw_cad で書かれた「文字幅」と DRA-CAD の「文字幅」とで異なる文字列ができる場合があります。この場合、再び JWW ファイルで書き出すと Jw_cad の文字種類が増えることがあります。

[□ 全半角混在文字列は幅 0]

[文字幅]が「Jw_cad の文字幅」で変換されます。

[◎ 平均幅]の場合のみ、[全半角混在文字列は幅 0]に☑ができます。

☑にすると、「全角と半角の文字が混在して書かれた文字列」のみ対象に、DRA-CAD の[文字幅]が「0mm」で変換されます。

[全角幅]

「全角だけの文字列」、「半角だけの文字列」、「全角と半角が混在した文字列」に関わらず、Jw_cad で設定した[文字幅]を DRA-CAD の[文字幅]に設定します。

全角幅で変換した場合の Jw_cad と DRA-CAD の文字列幅の違いの例

Jw_cad で、[文字高さ=10mm][文字幅=10mm][文字間隔=0mm]の設定で、「全角だけの文字列」、「半角だけの文字列」、「全角と半角が混在した文字列」を書き保存します。

そのファイルを DRA-CAD で[全角幅]を設定して読み込んだ例です。

Jw_cad 文字幅=10mm		→	DRA-CAD 文字幅=10mm	
	全角 3 文字の文字列 10mm×3=文字列幅は 30mm			10mm×3=文字列幅は 30mm
	半角 3 文字の文字列 5mm×3=文字列幅は 15mm			10mm×3=文字列幅は 30mm
	全角 3 文字 + 半角 2 文字の文字列 10mm×3+5mm×2=文字列幅は 40mm			10mm×5=文字列幅は 50mm

[☑ 半角文字の幅は半分]

[◎ 全角幅]の場合のみ、☑ができます。

すべての文字が、DRA-CAD の【文字記入】コマンドの[☑ 半角幅半分]で変換されます。

□にすると、半角文字も全角幅と同じ幅で変換されます。

② 文字は出力サイズ指定

文字を出力サイズで読み込む場合に、☑を入れます。

例：高さ・幅 3mmの文字を 1/100 で読み込む場合

[☑ 文字は出力サイズ指定] 高さ 3mm・幅 3mmに変換します。

[□ 文字は出力サイズ指定] 高さ 300mm・幅 300mmに変換します。



変換のアドバイス

DRA-CAD の【文字記入】コマンドに[半角幅半分]というオプションがあります。[☑ 半角幅半分]にすると、文字幅を設定している半角の文字は、指定された文字幅の半分の幅で表示されます。

※文字幅「0mm」の場合、[半角幅半分]の指定は無効になります。

Jw_cad では、必ず[文字幅]を設定して文字を書くため、JWW ファイルを DRA-CAD で読み込むと、[文字幅]が設定され変換されます。

また、DRA-CAD と Jw_cad の均等割付文字の情報が違うため、Jw_cad の均等割付文字は、DRA-CAD の均等割付文字としては読み込まれず、通常の文字として変換されます。

文字幅の説明は、[☑ 文字は出力サイズ指定]の場合で説明しています。[□ 文字は出力サイズ指定]にした場合は、文字幅に縮尺をかけた値が文字幅となります（詳細は、29 ページの「②文字は出力サイズ指定」を参照）。

③ 仮点を読み込む

Jw_cad の「仮点」を DRA-CAD の「点」として読み込む場合に、☒を入れます。

☒ 仮点を読み込む Jw_cad の「仮点」を「点」に変換します。

☐ 仮点を読み込む Jw_cad の「仮点」は JWW ファイル読み込み時に削除されます。

※Jw_cad の「実点」は、DRA-CAD の「点」に変換されます。

※詳細は、37 ページの「点について」を参照。

④ 点を円に変換

Jw_cad の「実点」を DRA-CAD の「円」として読み込む場合に☒を入れ、[円の半径]を設定します。

円の半径を出力サイズで指定して読み込みたい場合は、☒ 出力サイズ指定にします。

塗りつぶした円で読み込みたい場合は、☒ 塗りつぶしにします。

☒ 点を円に変換 Jw_cad の「点」を「円」に変換します。

例：半径 100 の円を 1/100 で読み込む場合

☒ 出力サイズ指定 半径 1mmに変換します。

☐ 出力サイズ指定 半径 100mmに変換します。

☐ 点を円に変換 Jw_cad の「点」を「点」のまま変換します。

POINT!

☒ 仮点を読み込む、☒ 点を円に変換の場合、「仮点」は「円」に変換されます。

※詳細は、37 ページの「変換のアドバイス」の「円について」を参照。

⑤ 線幅を変換する

☒ 線幅を変換する

線幅を変換する場合に☒を入れます。

☐にすると、すべての図形の線幅は 1 番で変換されます。

⑥ 補助線を補助線図形に変換する

☒ 補助線を補助線図形に変換する

補助線の属性が設定されている線分を、補助線図形に変換する場合に、☒を入れます。

※詳細は、14 ページの「補助線の変換について」を参照。

⑦ 画像の透過色を有効にする

設定により、画像の透過色をマスクカラー合成の画像として読み込みます。

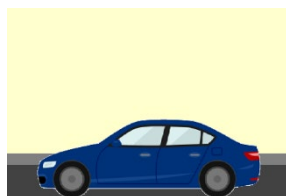
Jw_cad の設定

透過色-白(255,255,255)

DRA-CAD での表示

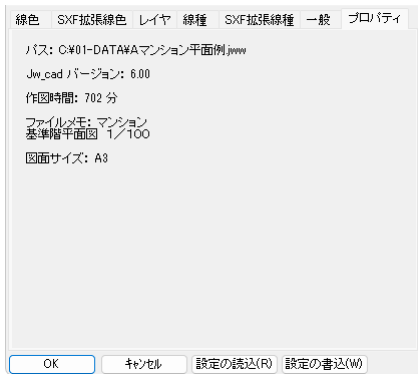
☒透過色を有効にする

☐透過色を有効にする



〔プロパティ〕タブの解説

〔プロパティ〕タブについて説明します。



Jw_cad で保存した時の以下の情報が表示されます。

- パス : 読み込みで指定した場所。JWW ファイルの「保存先 (パス) + ファイル名」
- Jw_cad のバージョン : JWW ファイルを保存した時に指定した Jw_cad のバージョン
- 作図時間 : 実際に作図した時間の概算
- ファイルメモ : Jw_cad で保存時に補足説明などを書き込んだメモ
- 図面サイズ : Jw_cad で指定した用紙サイズ



変換のアドバイス

DRA-CAD の対応している JWW ファイルは、Jw_cad for Windows Ver.2.30 以降で作成されたファイルになります。Ver.2.30 より前のファイルを読み込もうとすると、以下のメッセージが表示されます。

「Jw_cad for Windows Ver.2.30 以降のバージョンで作成されたデータの読み込みをサポートしています。Jw_cad for windows Ver.2.30 以降のバージョンで保存をし直してから読み込んでください。」

Ver.2.30 より前の JWW ファイルは、そのままでは読み込めませんので、Ver2.30 以降で保存し直してから読み込んでください。

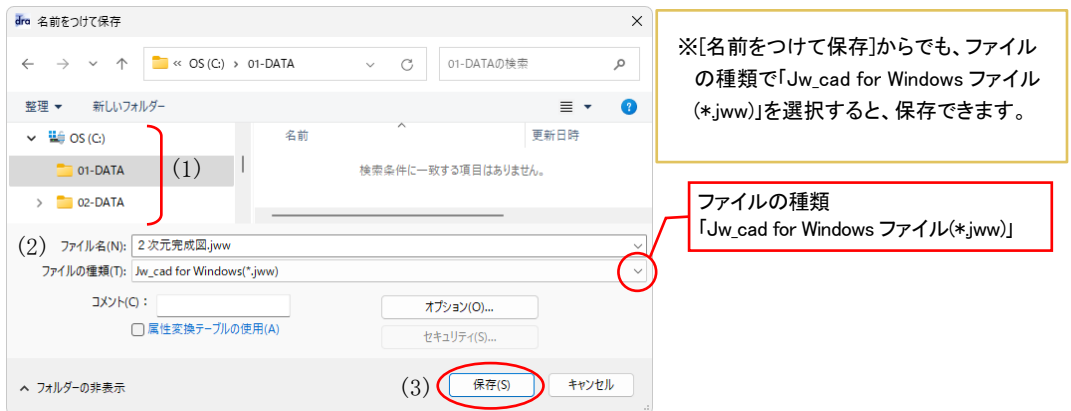
3. JWW ファイルの書き出し

ここでは、DRA-CAD ファイルを JWW ファイル形式で書き出し時の設定について説明します。

1. DRA-CAD から JWW ファイルで書き出し

JWW 形式で書き出したい図面ファイルを、画面上に開いた状態で実行します。
ファイルメニュー → [書き出し] → [JWW 保存]を実行します。

2. 名前をつけて保存ダイアログが表示される



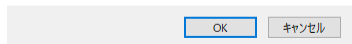
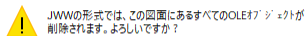
(1) JWW ファイル形式で保存するドライブ、フォルダを指定します。

(2) [ファイル名]に開いているファイルの名前が自動的に表示されます。

※ファイル名を変更したい場合は、[ファイル名]に異なる名前を入力してください。

(3) [保存]ボタンをクリックします。

※図面内に OLE オブジェクトがある場合は、メッセージが表示されます。



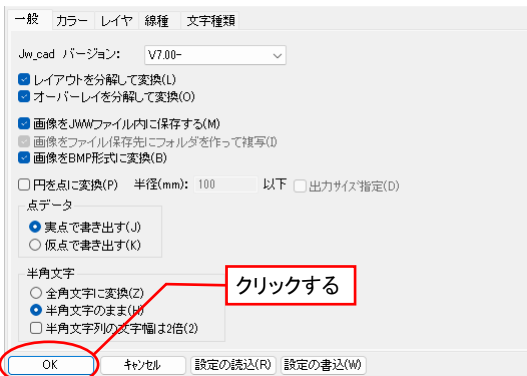
[OK]ボタン : JWW 書き出し時に OLE オブジェクトは削除されます。

[キャンセル]ボタン : 書き出し作業を中止します。

※JWW 保存の前に、あらかじめ【オブジェクトの図形化】コマンドで OLE オブジェクトの部分を、図形や画像に変換することができます。図形や画像にしておくことで、JWW ファイルに書き出せます。

3. JWW 書き出しダイアログが表示される

[OK]ボタンをクリックすると、JWW ファイルで書き出します。

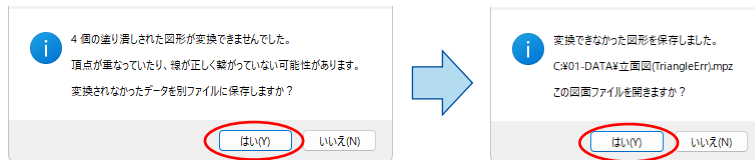


※変換方法を指定したい場合は、それぞれのタブで設定を行ってから変換してください。

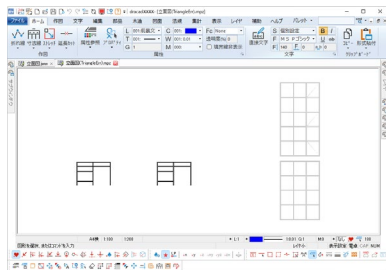
POINT!

塗りつぶし図形がある図面の変換

塗りつぶし図形の形状によっては、塗りつぶし図形を変換できない場合があります。変換できなかった場合、塗りつぶし図形を別ファイル(.MPZ)で保存するか確認メッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックすると、変換できなかった部分のみ別ファイルに保存され、そのファイルが開かれます。どの部分が変換できなかったかを確認することができます。



ファイル名(TriangleErr).mpz が開きます。変換できなかった部分を確認し、元のファイルを修正して、変換なおしてください。



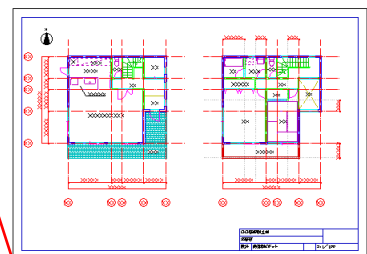
Jw_cad の五角形以上の多角形のソリッド図形は、複数の三角形(または四角形)から構成されます。DRA-CAD の五角形以上の多角形は、三角形分割を行い、Jw_cad 上で表現できる図形に変換しています。そのため、「歪んでいるポリライン」・「面積が0になっている四角形」などは、変換時にエラーメッセージが表示されます。



変換のアドバイス

JWW 書き出し時は、用紙枠範囲を基準に変換します。そのため、DRA-CAD の絶対原点や作図原点は無視され、用紙枠の左下が原点 (0,0) となります。

用紙枠
左下原点 (0,0)



〔一般〕タブの解説

〔一般〕タブの設定について説明します。



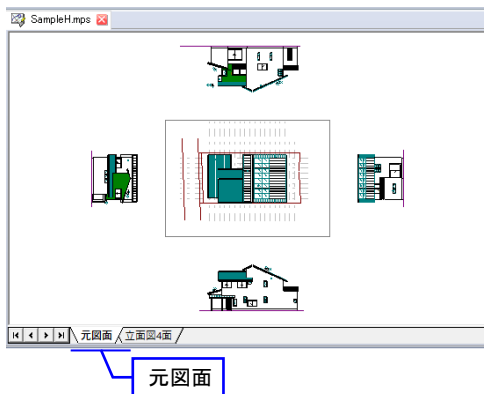
① Jw_cad バージョン

設定した Jw_cad バージョンで変換します。

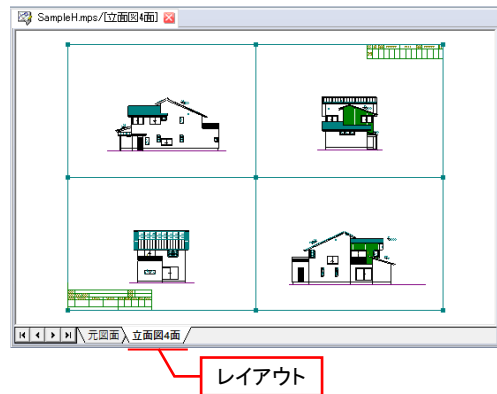
Jw_cad バージョン
Ver 2.30 — 2.51
Ver 3.00 — 3.50
Ver 3.51 — 4.10
Ver 4.20 — 5.22
Ver 6.00 — 6.21
Ver 7.00 —

② レイアウトを分解して変換

元図面を表示



レイアウトを表示



元図面が表示されている場合

[☒ レイアウトを分解して変換]

元図面とすべてのレイアウトが JWW ファイルとして保存されます。

元図面のファイル名は、[指定したファイル名].jww で保存されます。

例: SampleH .jww

レイアウトのファイル名は、[指定したファイル名]_[レイアウト名].jww で保存されます。

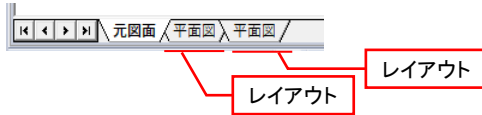
例: SampleH_立面図4面.jww

↑ 間はアンダーバー (_)

3. JWW ファイルの書き出し

※同じレイアウト名がある場合は、ファイル名の末尾に括弧付きで番号が付与されます。

例: レイアウト名が2つとも「平面図」



1 つめのレイアウト 例: SampleH _ 平面図 .jww

↑ 間はアンダーバー (_)

2 つめのレイアウト 例: SampleH _ 平面図(1) .jww

間はアンダーバー (_) ↑ ↑ 末尾に括弧付き(番号)

※保存するレイアウト図面と同じファイル名がある場合は、ファイル名の末尾に括弧付きで番号が付与されます。

[□ レイアウトを分解して変換]

元図面だけがそのまま JWW ファイルとして保存されます。

ファイル名は、[指定したファイル名].jww で保存されます。

レイアウトが表示されている場合

[レイアウトを分解して変換]は設定できません。

表示されているレイアウトだけがそのまま JWW ファイルとして変換されます。

ファイル名は、[指定したファイル名].jww で保存されます。

③ オーバーレイを分解して変換

[☑ オーバーレイを分解して変換]

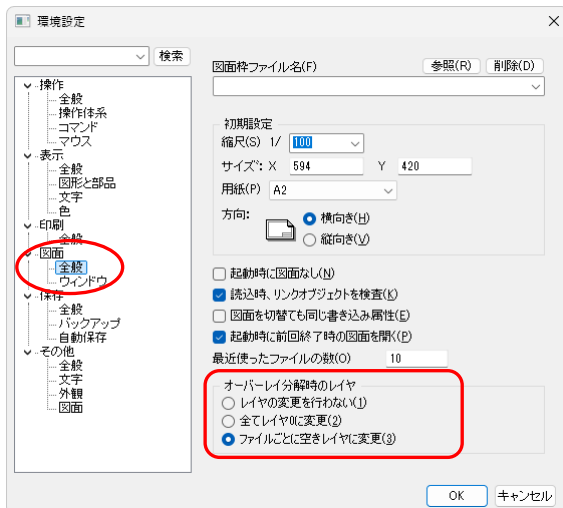
オーバーレイファイルを編集可能な線分や文字に分解して保存します。

[□ オーバーレイを分解して変換]

オーバーレイファイルを図面から削除して保存します。

※分解して変換する場合のレイヤは、【環境設定】コマンドの「図面」→「全般」→「オーバーレイ分解時のレイヤ」の設定で変換されます。

「環境設定」ダイアログ



④ 画像を JWW ファイル内に保存する

[☒ 画像を JWW ファイル内に保存する]

書き出す JWW ファイル内部に、画像ファイルを格納して保存します。

☐ にすると、JWW ファイル内部に画像を格納しません。

※Jw_cad Ver.7 未満のバージョン形式では選択できません(画像ファイルを JWW ファイルに同梱できないため)。

⑤ 画像をファイル保存先にフォルダを作って複写

[☒ 画像をファイル保存先にフォルダを作って複写]

書き出す JWW ファイルと同じフォルダに画像フォルダを作成し、画像ファイルを保存します。

☐ にすると、画像ファイルはそのままの位置で参照されます。

⑥ 画像を BMP 形式に変換

[☒ 画像を BMP 形式に変換]

BMP 形式以外の画像ファイルが、BMP 形式に変換されます。

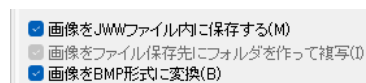
※Jw_cad は、初期状態では BMP 形式の画像のみ表示できます。

☐ にすると、初期状態の Jw_cad で保存したファイルを開いた際に、BMP 形式以外の画像は表示されません。

上記、④、⑤、⑥は、相互に依存しており、画像ファイルの同梱状態などによっても設定が変わります。

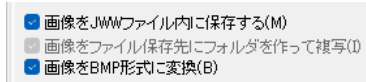
1. 画像ファイルが MPUW/MPZ/MPX に保存されている場合

[☒ 画像をファイル保存先にフォルダを作って複写]の状態、変更不可になります。

2. [☒ 画像を JWW ファイル内に保存する]の場合

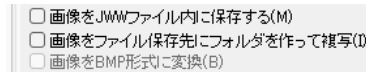
[☒ 画像をファイル保存先にフォルダを作って複写]の状態、変更不可になります。

(実際には JWW ファイル内に画像が保存されるため、JWW ファイルの保存先にフォルダは作られません。)

3. [☐ 画像を JWW ファイル内に保存する]・[☐ 画像をファイル保存先にフォルダを作って複写]の場合

[☐ 画像を BMP 形式に変換]の状態、変更不可になります。

(元の画像の位置のまま参照されるため、BMP 形式に変換できません。)



※すべて ☐ の状態で保存し、Jw_cad で読み込んだ場合、挿入したときと同じ場所に画像ファイルがないと、画像は表示されません。この場合、データの受け渡し時には、挿入したときと同じ画像ファイルも一緒に渡し、同じ場所にファイルを置く必要がありますので注意してください。

⑦ 円を点に変換

DRA-CAD の「円」を、Jw_cad の「円」、「点」のどちらで変換するかを指定します。

[☒ 円を点に変換]

円を点に変換したい場合に☒を入れます。設定した半径以下で描かれている円を「点」に変換します。円の半径を出力サイズで指定する場合は、[☒ 出力サイズ指定]にします。

例：1/100、100 mm以下の円

[☒ 出力サイズ指定] 半径 1mm を入力します。

[☐ 出力サイズ指定] 半径 100mm を入力します。

※変換された点データは、⑧【点データ】の設定により「実点」または「仮点」で変換されます。

☐にすると、円のまま変換されます。

⑧ 点データ

DRA-CAD の【点】コマンドで描いた「点」を、Jw_cad の「実点」、「仮点」のどちらで変換するかを指定します。

[実点で書き出す] 実点で変換されます。

[仮点で書き出す] 仮点で変換されます。



変換のアドバイス

円について

DRA-CAD では、【寸法線】・【通り心】コマンドで描いた寸法線の寸法止めタイプ「○」・「●」は、「円」で描かれます。

Jw_cad では、【寸法線】コマンドで描いた寸法線の寸法止めタイプ「●」は、「実点」で描かれます。

Jw_cad と同じ寸法止めの「実点」として書き出す場合、[☒ 円を点に変換]、[点データ]で[☒ 実点で書き出す]を設定してください。



点について

DRA-CAD では、【点】コマンドで描いた点は【端点】スナップでスナップができ、【環境設定】コマンドの「印刷」→「全般」→「点サイズ」、「点タイプ」の設定、【印刷の設定】コマンドの「点を印刷」で点を印刷する/しないの設定ができます。

Jw_cad では、「実点」と「仮点」の2種類の点があります。「実点」で描かれた点は、円として印刷・表示のほかスナップすることができますが、「仮点」はスナップのみになります。

⑨ 半角文字

DRA-CAD と Jw_cad の文字幅の考え方が異なるため、DRA-CAD の【文字記入】コマンドで「フォント名」、「幅」、「半角幅半分」の設定によって、DRA-CAD 上の文字と Jw_cad で読み込んだ時の文字の文字幅、表示幅が異なる場合があります。



変換のアドバイス

推奨の設定は、DRA-CAD の【文字記入】コマンドで[フォントを MS ゴシック]・[幅を指定]・☒ 半角幅半分]の設定で文字を記入することです。

JWW ファイルで書き出す時に、☒ 半角文字のまま]を設定して変換すると、Jw_cad で読み込んだ時の文字幅、表示幅が同じになります。

「文字記入」ダイアログ

文字記入

平面図

OK

キャンセル

置換記入(R)

スタイル名(S) 個別指定

フォント名(F) MS ゴシック

高さ(H) 0 = 5

幅(W) 0 = 5

間隔(P) ± 0 = 0

傾き(K) 0 0

改行幅(L) 0 0

オプション

☐ ホール(D) ☒ 出力サイズ指定(D)

☐ イタリック(I) ☐ 作図範囲指定(C)

☐ 下線(U) ☐ 幅固定均等割付(J)

☐ 取消し線(O) ☐ 間隔固定均等割付(Q)

☒ 半角幅半分(B) ☐ 縦書き文字(O)

☒ SxP仕様表示(S)

☐ 背景色で塗りつぶし(L)

原点

文字列(G) >>

サイズ(Z) >>

標準設定(M) >>

回転(I) 0 ± 0

オフセットX = 0 ± 0

オフセットY = 0 ± 0

属性リストを参照(A) フレビュー

XxYyZz123

「JWW 書き出し」ダイアログ

一般 カラー レイヤ 線種 文字種類

Jw_cad バージョン: V7.00-

☒ レイアウトを分解して変換(L)

☒ オーバーレイを分解して変換(Q)

☒ 画像をJWWファイル内に保存する(M)

☐ 画像をファイル保存先にフォルダを作って書き出す(P)

☒ 画像をBMP形式に変換(B)

☐ 円を点に変換(P) 半径(mm): 100 以下 ☐ 出力サイズ指定(D)

点データ

☒ 実点で書き出す(J)

☐ 仮点で書き出す(K)

半角文字

☐ 全角文字に変換(Z)

☒ 半角文字のまま(H)

☐ 半角文字列の文字幅は2倍(Z)

OK

キャンセル

設定の読み込み(R) 設定の書き込み(W)

〔カラー〕タブの解説

〔カラー〕タブの設定について説明します。

SXF 拡張線色は Jw_cad Ver.4.20 以降の書き出し時のみ有効です。

① 自動で変換する

[☒ 自動で変換する]の場合

DRA-CAD のカラー定義を自動的に変換します。



JWW ファイルを読み込み、再度 JWW ファイルへ書き出す場合は、元のカラー定義と同じになります（詳細は、「2. JWW ファイルの読み込み 〔線色〕タブの解説」を参照）。

DRA-CAD の 1 番から 8 番のカラーを Jw_cad の【基本設定】コマンドの「画面要素」－基本線色 1 番から 8 番に設定します。

JWW ファイルの補助線は、DRA-CAD で読み込むと、9 番のカラーに「補助線色」というカラー名称が設定されます。このカラー名称「補助線色」が設定されているカラー番号の図形は、JWW ファイルで書き出すと、Jw_cad の補助線色に変換します。

また、Jw_cad で SXF 仕様の既定義線色 1 番から 16 番を使って作図した図形を、DRA-CAD で読み込むと、カラー番号に SXF 仕様の既定義線色 1 番から 16 番に合致するカラー名称（合致する RGB 値）が設定されます。この合致するカラー名称（合致する RGB 値）がある場合は、JWW ファイルで書き出すと、Jw_cad の SXF 拡張線色の 1 番から 16 番に変換します。

17 番のカラー以降で、上記に当たらない色は、順番に Jw_cad の SXF ユーザー定義線色に変換します。

? 補助線の変換について

DRA-CAD の【補助線】コマンドで作成した補助線以外の線分・円・円弧などの図形を、補助線として変換したい場合は、それぞれの図形に次のいずれかの属性を設定します。

1. JWW 書き出しダイアログの〔カラー〕タブの「補助線色」を設定する、〔線種〕タブの「補助線種」を設定する。
2. JWW 書き出しダイアログの〔レイヤ〕タブの「補助線にする」を設定する。



変換のアドバイス

Jw_cad で同じファイルを開いても、表示される色は、Jw_cad の設定によって異なります。

「ファイルに保存されている線色の色」で表示するか、「Jw_cad のプログラム側で設定してある線色の色」で表示するかで、表示色が異なってきます。

Jw_cad のプルダウンメニューから[設定]→[基本設定]を選択すると、ダイアログが表示されます。

[☒ 線色要素・線種パターン・点半径]でファイルを開くと、JWW 書き出しダイアログで設定した線色 1～線色 8 の色でファイルが読み込まれます。

一般(1) | 一般(2) | 色・画面 | 線種 | 文字 | AUTO | KEY | DXF・SXF・JWC |

一般設定 (1) 外部エディタ C:\Windows\NOTEPAD.EXE 参照

画面横寸法 (mm) 246 全体表示モード 枠優先 1 画面横ドット数 1920

オートセーブ 時間(1~1000分) 30 バックアップ 実行数 1 Undo の回数 100

☐ クロックメニューを使用しない ☐ 左 ☐ 右 クロックメニュー開始のAM/PMは前操作状態

☐ 読取り点に仮点表示 クロックメニューに移行するドット数(20~200) 35

☐ 複線のとき、数値入力後の[Enter]キーで連続複線にする ☐ 消去部分を再表示する

ファイル読込項目 ☒ 線色要素・線種パターン・点半径 ☒ 描画・印刷状態 ☒ 文字基準点ずれ

☐ プリント出力イメージの背景を白にする(背景色が白の場合は無効)

☐ 円周 1/4 点読取りを、円周 1/8 点読取りにする ☐ 初期フォント: AUTO

☐ 線長取得で円を指示したとき、円半径取得で円周長取得にする ☐ 用紙枠を表示する

☐ 入力数値の文字を大きくする ☐ ステータスバーの文字を大きくする

☐ 文字入力コンボボックスの文字数を 2 バイト単位で表示

文字表示と枠表示の切り替えドット数 6 文字フォント表示倍率 1

☐ マウスの左または右ボタンを押して 1 秒待つとズーム操作(L:移動) (R:縮小・拡大)

☐ 線コマンドでマウスを左右または上下に 4 回移動すると水平垂直線と斜線との切替

☐ クロスラインカラーを使う (☐ 範囲指定のみ ☐ 範囲始点のみ)

☐ 表示のみレイヤも属性取得 ☐ ファイル選択にコンマダイアログを使用する

☐ 逆順描画 ☒ 画像・スライドを最初に描画 ☐ スライドを先に描画

☒ 透過属性 ☐ スライド 描画順 ☐ レイヤ順 ☒ レイヤ逆順 ☐ 色順 ☐ 色逆順 ☐ 印刷出力設定順

☐ 新規ファイルのときレイヤ名・状態を初期化、プロパティ・環境ファイルを再読み込み ☐ 逆順サーチ

線数 0 円数 0 文字 0 点数 0 寸法 0 プログラミング 0, 0

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

[一般(1)]タブの[☐ 線色要素・線種パターン・点半径]でファイルを開くと、[色・画面]タブの[画面 要素]に設定してある線色 1～線色 8 の色でファイルが読み込まれます。

一般(1) | 一般(2) | 色・画面 | 線種 | 文字 | AUTO | KEY | DXF・SXF・JWC |

線色・線種 設定 色要素(0~255) 画面線種(1~16) プリント出力線種(1~500)

画面要素

	赤	緑	青	線種
線色 1	0	192	192	1
線色 2	0	0	0	1
線色 3	0	192	0	1
線色 4	192	192	0	1
線色 5	192	0	192	1
線色 6	0	0	255	1
線色 7	0	128	128	1
線色 8	255	0	128	1
グレー	192	192	192	
補助線色	255	128	255	1
選択色	255	0	255	
仮表示色	255	0	0	

プリント出力要素

	赤	緑	青	線種	点半径
線色 1	0	255	255	10	0.2
線色 2	0	0	0	15	0.3
線色 3	0	255	0	20	0.4
線色 4	255	255	0	25	0.5
線色 5	255	0	255	30	0.5
線色 6	0	0	255	35	0.5
線色 7	0	128	128	40	0.5
線色 8	255	0	0	45	0.5
グレー	192	192	192		

画面背景色、ズーム時(クオースタイル)線色要素

	背景色	ズーム時	ズーム時
背景色	255	255	255
ズーム時	128	128	128

文字色

☐ 実点を指定半径で画面に描画(最大100ドット) ☐ 実点を指定半径(mm)でプリント出力

☐ 線幅を表示倍率に比例して描画(☐ 印刷時に ☒ 線幅を 1/100mm 単位とする dpi 切替

端点の形状 丸 線描画の最大幅(1~100dot)or線幅の単位(1/10mm-1~100) 100

色彩の初期化 背景色: 白 背景色: 黒 背景色: 深緑 プリント出力色 線幅

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

DRA-CAD で[印刷の設定]の[☒ 線の色で指定する]の場合は、[出力色と線幅の設定]で設定した線幅が変換されます。
[☐ 線の色で指定する]の場合は、線分に設定した線幅の属性で変換されます。

② DRA-CAD のカラーパレットと Jw_cad の線色を合わせる

[☐ 自動で変換する] の場合[☒ DRA-CAD のカラーパレットと Jw_cad の線色を合わせる]

DRA-CAD のカラーパレットにあわせて、
Jw_cad のカラーパレットが変更され、
同じ色が設定されます。

変更する場合は、右側の ☒ ボタンをクリックしてリストから設定します。



☒ を入力したりはずしたりすると、設定した色番号はその都度破棄されます。

DRA-CAD		Jw_cad	
☒ カラーパレットと線色をあわせる			
カラー番号 001		線色 1	
カラー番号 002		線色 2	
カラー番号 003		線色 3	
カラー番号 004		線色 4	
カラー番号 005		線色 5	
カラー番号 006		線色 6	
カラー番号 007		線色 7	
カラー番号 008		線色 8	
カラー番号 009		ユーザー定義線色 17	
...		...	
カラー番号 256		ユーザー定義線色 256	

※カラー番号 009 以降は、ユーザー定義線色に近い色が設定され、
241~248 番はユーザー定義線色 225~232 番に設定されます。

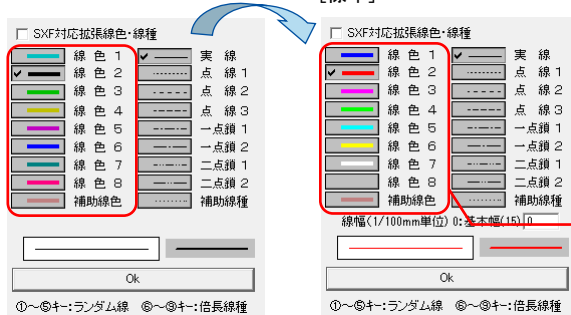
DRA-CAD		Jw_cad	
☐ カラーパレットと線色をあわせる			
カラー番号 001		線色 1	
カラー番号 002		線色 2	
カラー番号 003		線色 3	
カラー番号 004		線色 4	
カラー番号 005		線色 5	
カラー番号 006		線色 6	
カラー番号 007		線色 7	
カラー番号 008		線色 8	
...		...	
カラー番号 256		線色 2	

※カラー番号 009 以降は、線色 1~8 で線色に近いものが設定されます。

Jw_cad の「線属性」ダイアログ

[☒ DRA-CAD のカラーパレットと Jw_cad の線色をあわせる] の場合

[標準]

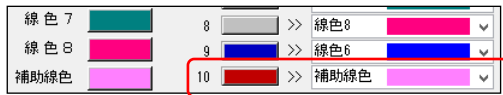
[☒ SXF 対応拡張線色]

【共通の設定項目】

DRA-CAD の【補助線図形】コマンドで作図した補助線の色は、Jw_cad の補助線色に変換されます。

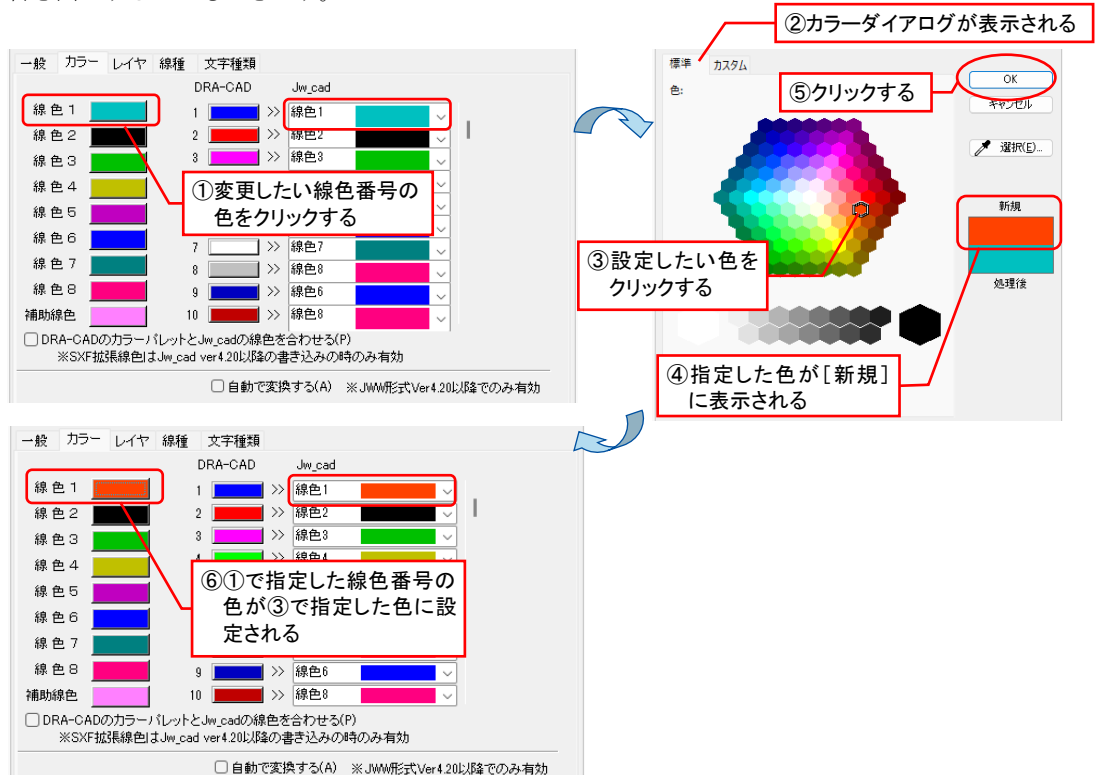
補助線以外の図形を Jw_cad の補助線として変換する場合は、その図形のカラー番号に、【補助線色】を設定します。

例: 10 番の色で描いた補助線以外の図形を「補助線」として変換したい場合



※詳細は、39 ページの「補助線の変換について」を参照。

ダイアログ左側の【線色1】から【線色8】の色は、Jw_cad の背景色が白の場合の線色 1 ～ 線色 8 の色を表示しています。初期値では、Jw_cad の線色 1 ～ 線色 8 の標準色が設定されていますが、色を変更して書き出しすることもできます。



〔レイヤ〕タブの解説

〔レイヤ〕タブの設定について説明します。

① DRA-CAD の「レイヤ」を Jw_cad の「レイヤグループ+レイヤ」に設定する

DRA-CAD の「レイヤ番号」に対する Jw_cad の「レイヤグループ+レイヤ」を設定します。

初期値では、以下のように変換されます。

変更する場合は、右側の ☒ ボタンをクリックしてリストから設定します。

DRA-CAD	Jw_cad
レイヤ番号 0	レイヤ F-F
レイヤ番号 1	レイヤ 0-0
レイヤ番号 2	レイヤ 0-1
(途中省略)	
レイヤ番号 254	レイヤ F-D
レイヤ番号 255	レイヤ F-E
レイヤ番号 256	レイヤ F-F

初期値は、DRA-CAD の
レイヤ 1 番～256 番の順に、
Jw_cad の
レイヤ 0-0 番から F-F 番
が設定される。

POINT!

DRA-CAD のレイヤ数の方が 1 つ多いため、DRA-CAD のレイヤ 0 番と 256 番は Jw_cad のレイヤ F-F 番が設定されます。また、書き出しレイヤが重複している場合は、もっともデータ数の多いレイヤの表示情報で書き出します。

② 補助線にするレイヤ、グループ

DRA-CAD の【補助線図形】コマンドで作図した補助線は、Jw_cad の補助線属性の線分に変換されます。補助線以外の図形を、Jw_cad の「補助線」として変換したい場合に[レイヤ]・[グループ]に☒を入れ、[レイヤ番号]、[グループ番号]を設定します。

※詳細は、39 ページの「補助線の変換について」を参照。

〔レイヤ〕だけに☒を入れた場合

設定したレイヤ番号のデータが、すべて「補助線」に変換されます。

〔グループ〕だけに☒を入れた場合

どのレイヤ番号であっても、設定したグループ番号で描かれた線分が、すべて「補助線」に変換されます。

〔レイヤ〕、〔グループ〕の両方に☒を入れた場合

設定したレイヤ番号とグループ番号で描かれた両方の条件を持つ線分のみ、「補助線」に変換されます。



レイヤグループ、レイヤについて

Jw_cad では、16 枚のレイヤを 1 つのグループとし、それを 16 グループ持つ構成で、16 グループ×16 レイヤの計 256 枚のレイヤを持っていることになります。このグループのことを「レイヤグループ」と表現しています。

「指定レイヤグループ—指定レイヤ」で表し、「レイヤグループ 0」の中の「レイヤ 1」は、「0-1」レイヤと表します。

Jw_cad の「0-1」から「F-F」レイヤが、DRA-CAD の「1」から「256」番レイヤに対応します。

DRA-CAD から Jw_cad に変換する場合は、
例：DRA-CAD のレイヤ番号「2」を Jw_cad の「0-1」レイヤに変換するというように設定します。
また、DRA-CAD の番号にレイヤ名を設定した場合は、Jw_cad のレイヤグループのレイヤ名に変換されます。

DRA-CAD では、【レイヤグループ設定】コマンドでレイヤグループを設定します。

JWW ファイルを読み込んだ場合は、Jw_cad で設定された情報は、【レイヤグループ設定】コマンドと「Jw レイヤパレット」に読み込まれますので、設定は不要です。再度 JWW 形式で書き出す場合は、レイヤグループの設定を変更しないでください。

※20 ページの「変換のアドバイス」に「Jw レイヤパレット」と【レイヤグループ設定】コマンドについての注意点などの説明があります。21 ページには「Jw レイヤパレット」の説明があります。あわせてご参照ください。

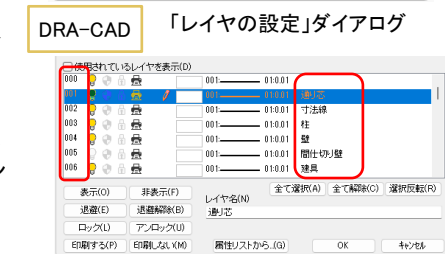
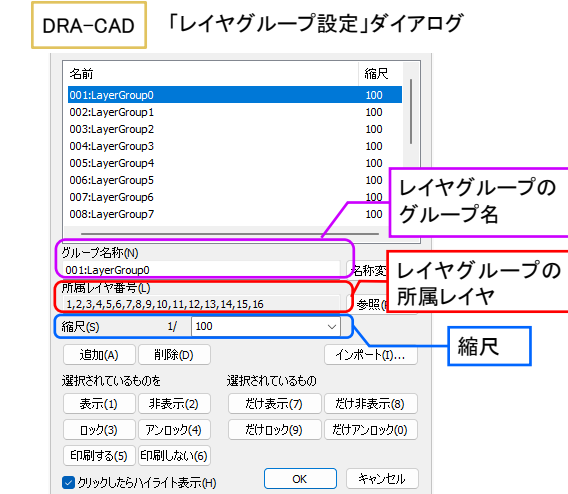
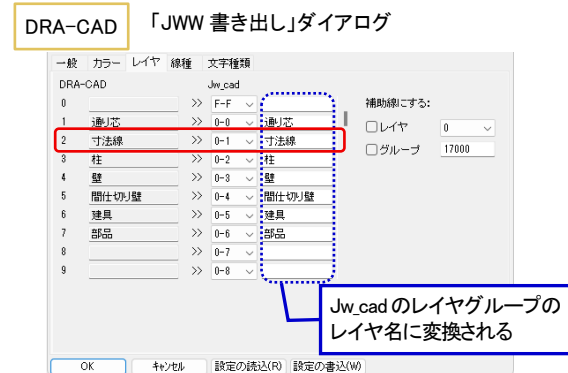
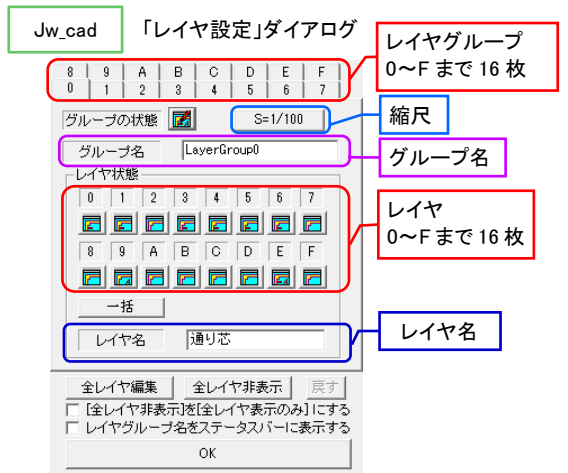
JWW ファイルを読み込まず、DRA-CAD から新規で作成したファイルを JWW 形式に書き出す際には、レイヤグループを設定してください。

詳細は、54 ページの【レイヤグループ設定】コマンドについてをご参照ください。

DRA-CAD では、レイヤ番号に対してわかりやすくレイヤ名を設定できます。【レイヤ設定】コマンドで「レイヤ名」の項目に名前を設定します。

ステータスバーでレイヤ番号をクリックすると、設定したレイヤ名を確認でき、右クリックすると【レイヤ設定】コマンドが実行できます。

※レイヤメニューからも【レイヤ設定】コマンドが実行できます。



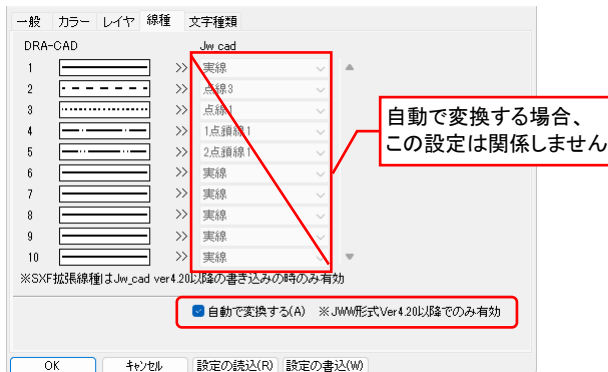
〔線種〕タブの解説

〔線種〕タブの設定について説明します。

① 自動で変換する

[☒ 自動で変換する]の場合

DRA-CAD の線種定義を自動的に変換します。



※SXF 拡張線種は Jw_cad ver.4.20 以降の書き出しの時のみ有効

DRA-CAD の初期値の線種は、以下のように変換されます。

DRA-CAD	Jw_cad
線種番号 001 (実線)	実線
線種番号 002 (破線)	点線 2
線種番号 003 (点線)	点線 1
線種番号 004 (一点鎖線)	1 点鎖線 2
線種番号 005 (二点鎖線)	2 点鎖線 2

上記以外の線種は、カスタマイズされた線種として、Jw_cad の SXF 対応拡張線種のカスタマイズ線種に変換されます。

DRA-CAD で「補助線種」という名称を設定した場合、Jw_cad の「補助線種」に変換されます。

JWW 書き出し時に、カスタマイズされたランダム線種は、初期値のランダム線種になります。



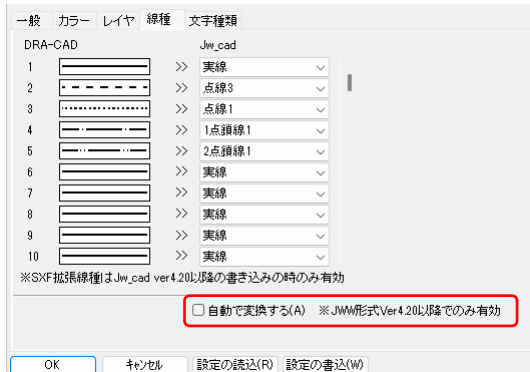
変換のアドバイス

読み込んだ JWW ファイルを、再度 JWW ファイル形式で書き出す場合は、読み込んだ「線種定義名」を変更しないでください。Jw_cad 上で再現されなくなります。

② DRA-CAD の線種番号を Jw_cad の線種に設定する

[☐ 自動で変換する]の場合

DRA-CAD の「線種番号」に対する Jw_cad の「線種」を設定します。



※SXF 拡張線種は Jw_cad ver.4.20 以降の書き出しの時のみ有効

初期値では、1～5 番までは DRA-CAD の線種と Jw_cad の線種がほぼ同じになるように設定されています。変更する場合は、右側の ☒ ボタンをクリックしてリストから設定します。

DRA-CAD	Jw_cad
線種番号 001 (実線)	実線
線種番号 002 (破線)	点線 3
線種番号 003 (点線)	点線 1
線種番号 004 (一点鎖線)	1 点鎖線 1
線種番号 005 (二点鎖線)	2 点鎖線 1

6 番～32 番までは、Jw_cad の実線が設定されています。DRA-CAD で線種番号 6 番以降を使っている場合は、その線種番号に対する線種を右側の ☒ ボタンをクリックしてリストから設定します。

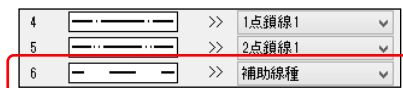
※線種定義は変換しません。線種定義を同じにする場合は、Jw_cad で線種ピッチを設定してください。

※ユーザー定義線種、ランダム線種、倍長線種には対応していません。

DRA-CAD の【補助線図形】コマンドで作図した補助線は、「補助線種」を設定しなくても Jw_cad の「補助線種」に変換されます。補助線以外の図形を Jw_cad の補助線として変換する場合は、その図形の線種番号に、「補助線種」を設定します。

※詳細は、39 ページの「補助線の変換について」を参照。

例: 6 番の線種で描いた線分を「補助線」として変換したい場合



〔文字種類〕タブの解説

〔文字種類〕タブの設定について説明します。

DRA-CAD の文字サイズ(高さ・幅・間隔)に対する、Jw_cad の文字の文字種類番号を設定します。

① 自動で変換する

[☒ 自動で変換する]の場合

DRA-CAD で表示されている文字と、同じ大きさや色で文字列が表示されるように自動で変換されます。

DRA-CAD						Jw_cad					
個数	線色	高さ	幅	間隔	種類	種類	線色	高さ	幅	間隔	
55	2	3	3	0	No.1	No.1	2	3	3	0	
7	2	3	3	1	No.2	No.2	2	3	3	1	
6	1	4	4	0	No.3	No.3	1	4	4	0	
5	3	5	5	0	No.4	No.4	3	5	5	0	
3	7	2.5	2.5	0	No.5	No.5	7	2.5	2.5	0	
3	6	10	10	0	No.6	No.6	6	10	10	0	
3	2	3.5	3.5	0	No.7	No.7	2	3.5	3.5	0	
2	2	4	4	1	No.8	No.8	2	4	4	1	
3	4	2.5	2.5	0	No.9	No.9	4	2.5	2.5	0	
2	5	5	5	0	No.10	No.10	5	5	5	0	
2	6	3	3	1	任意...						

☐ 文字の大きさを10種類にまとめる(M) ☒ 緑色の違いを考慮する(D)
 ※SXF拡張線色はJw_cad ver 4.20以降の書き込みの時のみ有効
☒ 自動で変換する(A) ※ JWW形式 Ver 4.20以降でのみ有効

OK キャンセル 設定の読み込み(R) 設定の書き込み(W)

文字の大きさと色の組み合わせで、使用頻度の高い順の 10 種類を、Jw_cad の文字の種類 No. 1 から No. 10 に割り当てます。

上記以外の文字列は、Jw_cad の任意サイズとして変換されます。

※SXF 拡張線色は Jw_cad ver.4.20 以降の書き出しの時のみ有効

② DRA-CAD で使っている文字データの情報表示

[☐ 自動で変換する]の場合

ダイアログ左側（DRA-CAD 側）には、DRA-CAD で開いている図面中の全文字データの「個数」、「線色」、「文字サイズ(高さ・幅・間隔)」がカウントされ表示されます。

開いている図面中の「文字サイズ」が 10 種類以内の場合、個数が多い順に No. 1 から No. 10 まで表示されます。「文字サイズ」が 10 種類を超えると、11 種類目から[種類]欄に「任意サイズ」が表示されます。

[線色]の欄では、[カラー]タブで設定した Jw_cad の線色番号が表示されます。

[種類]の欄では、Jw_cad に変換後の「文字種類番号」が表示されます。

一般 カラー レイヤ 線種 文字種類

DRA-CAD 全て任意サイズ Jw_cad

個数	線色	高さ	幅	間隔	種類
55	2	3	3	0	No.1
7	2	3	3	1	No.2
6	1	4	4	0	No.3
5	3	5	5	0	No.4
3	7	2.5	2.5	0	No.5
3	6	10	10	0	No.6
3	2	3.5	3.5	0	No.7
2	2	4	4	1	No.8
3	4	2.5	2.5	0	No.9
2	5	5	5	0	No.10
2	6	3	3	1	任意...

☐ 文字の大きさを10種類にまとめる(M) ☒ 線色の違いを考慮する(D)
※SXF拡張線色はJw_cad ver4.20以降の書き込みの時のみ有効

☐ 自動で変換する(A) ※JWW形式Ver4.20以降でのみ有効

OK キャンセル 設定の読み込み(R) 設定の書き込み(W)

- ①変更したい番号の上にカーソルを合わせてクリックすると、文字種類が一覧で表示されます。
 - ②一覧の中から設定したい番号を左クリックすると、指定した番号が設定されます。
- ※文字種類の一覧からは、文字種類番号「No.1 から No.10」と「任意サイズ」が選択できます。

※SXF 拡張線色は Jw_cad ver.4.20 以降の書き出しの時のみ有効

Jw_cad に変換する文字データの情報表示

ダイアログの左側（DRA-CAD 側）で 10 種類に分けられた文字が、右側（Jw_cad 側）の「種類」、「線色（線色番号）」、「文字サイズ(高さ・幅・間隔)」に表示され、この設定で JWW ファイルに変換されます。設定されている「線色（線色番号）」、「文字サイズ(高さ・幅・間隔)」は、変更できます。

一般 カラー レイヤ 線種 文字種類

DRA-CAD 全て任意サイズ Jw_cad

個数	線色	高さ	幅	間隔	種類
55	2	3	3	0	No.1
7	2	3	3	1	No.2
6	1	4	4	0	No.3
5	3	5	5	0	No.4
3	7	2.5	2.5	0	No.5
3	6	10	10	0	No.6
3	2	3.5	3.5	0	No.7
2	2	4	4	1	No.8
3	4	2.5	2.5	0	No.9
2	5	5	5	0	No.10
2	6	3	3	1	任意...

☐ 文字の大きさを10種類にまとめる(M) ☒ 線色の違いを考慮する(D)
※SXF拡張線色はJw_cad ver4.20以降の書き込みの時のみ有効

☐ 自動で変換する(A) ※JWW形式Ver4.20以降でのみ有効

OK キャンセル 設定の読み込み(R) 設定の書き込み(W)

変更したい数値をダブルクリックし数値を入力します

変更したい数値をダブルクリックして一覧から設定します

- No.1
- No.2
- No.3
- No.4
- No.5
- No.6
- No.7
- No.8
- No.9
- No.10
- 任意サイズ

POINT!

[文字サイズ(高さ・幅・間隔)]には、出力時のサイズが表示されます。

例えば、1/100 の図面に書かれた「文字高さ 300mm」の文字は、印刷時の大きさに「文字高さ 3mm」が表示されます。

Jw_cad では必ず「文字幅」を設定する必要があるため、DRA-CAD で文字幅を「0mm」で書いた文字は、[幅]の欄に文字高さと同じ数値が自動的に設定されます。

③ 文字の大きさを 10 種類にまとめる

[☑ 文字の大きさを 10 種類にまとめる]

DRA-CAD データ内の全文字データの文字サイズが 10 種類を超えた場合は、10 種類以内になるように、近い文字サイズにまとめられます。

11 種類目以降は、最も近いサイズの種類番号が自動で割当てられます。

DRA-CAD						Jw_cad				
個数	線色	高さ	幅	間隔	種類	種類	線色	高さ	幅	間隔
55	2	3	3	0	No.1	No.1	2	3	3	0
7	2	3	3	1	No.2	No.2	2	3	3	1
6	1	4	4	0	No.3	No.3	1	4	4	0
5	3	5	5	0	No.4	No.4	3	5	5	0
3	7	2.5	2.5	0	No.5	No.5	7	2.5	2.5	0
3	6	10	10	0	No.6	No.6	6	10	10	0
3	2	3.5	3.5	0	No.7	No.7	2	3.5	3.5	0
2	2	4	4	1	No.8	No.8	2	4	4	1
3	4	2.5	2.5	0	No.9	No.9	4	2.5	2.5	0
2	5	5	5	0	No.10	No.10	5	5	5	0
2	6	3	3	1	No.2					

☑ 文字の大きさを10種類にまとめる(M) ☑ 線色の違いを考慮する(D)
 ※SXF拡張線色はJw_cad ver4.20以降の書き込みの時のみ有効

☐ 自動で変換する(A) ※JWW形式Ver4.20以降でのみ有効

OK キャンセル 設定の読込(R) 設定の書込(W)

近いサイズの種類番号に設定されます。
種類番号をクリックすると、変更することもできます。

※文字サイズを 10 種類にまとめた後にも、左側の[種類]でクリックして種類番号を変更できます。

[☐ 文字の大きさを 10 種類にまとめる]

右側の Jw_cad のダイアログには「任意サイズ」は表示されませんが、DRA-CAD 側で表示された任意の文字サイズも JWW ファイルに変換されます。

DRA-CAD						Jw_cad				
個数	線色	高さ	幅	間隔	種類	種類	線色	高さ	幅	間隔
55	2	3	3	0	No.1	No.1	2	3	3	0
7	2	3	3	1	No.2	No.2	2	3	3	1
6	1	4	4	0	No.3	No.3	1	4	4	0
5	3	5	5	0	No.4	No.4	3	5	5	0
3	7	2.5	2.5	0	No.5	No.5	7	2.5	2.5	0
3	6	10	10	0	No.6	No.6	6	10	10	0
3	2	3.5	3.5	0	No.7	No.7	2	3.5	3.5	0
2	2	4	4	1	No.8	No.8	2	4	4	1
3	4	2.5	2.5	0	No.9	No.9	4	2.5	2.5	0
2	5	5	5	0	No.10	No.10	5	5	5	0
2	6	3	3	1	任意					

☐ 文字の大きさを10種類にまとめる(M) ☑ 線色の違いを考慮する(D)
 ※SXF拡張線色はJw_cad ver4.20以降の書き込みの時のみ有効

☐ 自動で変換する(A) ※JWW形式Ver4.20以降でのみ有効

OK キャンセル 設定の読込(R) 設定の書込(W)

「任意サイズ」の文字は表示されませんが、
任意のサイズ、線色で変換されます。

④ 線色の違いを考慮する

[☑ 線色の違いを考慮する]

DRA-CAD データ内の全文字データをカウントする時に、「文字サイズ(高さ・幅・間隔)」が同じでも、「色」が違う文字を、別の文字データとしてカウントしたい場合に☑します。同一文字列内に異なる色で書かれている文字（マルチテキスト）も、別の文字データとしてカウントしたい場合に☑します。

例：色が異なる同じ文字サイズの文字は、色ごとに異なる文字データとしてカウントされます。

The dialog box shows the 'Line Color' (線色) tab selected. The 'Consider line color differences' (線色の違いを考慮する(D)) checkbox is checked and circled in red. Below the tables, the text indicates that this option is only effective for Jww_cad ver 4.20 and later.

DRA-CAD						Jww_cad				
個数	線色	高さ	幅	間隔	種類	種類	線色	高さ	幅	間隔
55	2	3	3	0	No.1	No.1	2	3	3	0
7	2	3	3	1	No.2	No.2	2	3	3	1
6	1	4	4	0	No.3	No.3	1	4	4	0
5	3	5	5	0	No.4	No.4	3	5	5	0
3	7	2.5	2.5	0	No.5	No.5	7	2.5	2.5	0
3	6	10	10	0	No.6	No.6	6	10	10	0
3	2	3.5	3.5	0	No.7	No.7	2	3.5	3.5	0
2	2	4	4	1	No.8	No.8	2	4	4	1
3	4	2.5	2.5	0	No.9	No.9	4	2.5	2.5	0
2	5	5	5	0	No.10	No.10	5	5	5	0
2	6	3	3	1	任意...					

☐ 文字の大きさを10種類にまとめる(M)
※SXF拡張線色はJww_cad ver 4.20以降の書き込みの時のみ有効

☒ 線色の違いを考慮する(D)
※JWW形式Ver 4.20以降でのみ有効

☐ 自動で変換する(A) ※JWW形式Ver 4.20以降でのみ有効

OK キャンセル 設定の読み込み(R) 設定の書き込み(W)

[☐ 線色の違いを考慮する]

例：色が異なる同じ文字サイズの文字は、1種類の文字データとしてカウントされます。

The dialog box shows the 'Line Color' (線色) tab selected. The 'Consider line color differences' (線色の違いを考慮する(D)) checkbox is unchecked and circled in red. Below the tables, the text indicates that this option is only effective for Jww_cad ver 4.20 and later.

DRA-CAD						Jww_cad				
個数	線色	高さ	幅	間隔	種類	種類	線色	高さ	幅	間隔
55	2	3	3	0	No.1	No.1	2	3	3	0
9	2	3	3	1	No.2	No.2	2	3	3	1
7	3	5	5	0	No.3	No.3	3	5	5	0
6	4	2.5	2.5	0	No.4	No.4	4	2.5	2.5	0
6	1	4	4	0	No.5	No.5	1	4	4	0
3	2	3.5	3.5	0	No.6	No.6	2	3.5	3.5	0
3	6	10	10	0	No.7	No.7	6	10	10	0
2	2	4	4	1	No.8	No.8	2	4	4	1
						No.9	4	2.5	2.5	0
						No.10	5	5	5	0

☐ 文字の大きさを10種類にまとめる(M)
※SXF拡張線色はJww_cad ver 4.20以降の書き込みの時のみ有効

☐ 線色の違いを考慮する(D)
※JWW形式Ver 4.20以降でのみ有効

☐ 自動で変換する(A) ※JWW形式Ver 4.20以降でのみ有効

OK キャンセル 設定の読み込み(R) 設定の書き込み(W)



変換のアドバイス

〔文字種類〕タブの〔線色〕欄に表示されている番号は、〔カラー〕タブで設定した Jw_cad の線色番号です。

例えば、〔カラー〕タブで DRA-CAD のカラー番号 1 番(青色)を Jw_cad の線色 1 番に設定すると、DRA-CAD で描いた 1 番青色の文字は、〔文字種類〕タブの〔線色〕欄の 1 番にカウントされます。

〔文字種類〕タブの Jw_cad 側の「線色番号」を変更する場合、DRA-CAD のカラー番号ではなく、〔カラー〕タブに設定されている Jw_cad の線色番号 1 番～8 番を基準に番号を入力してください。

Left Screenshot: Color Tab

線色 1	線色 2	線色 3	線色 4	線色 5	線色 6	線色 7	線色 8	補助線色
1	2	3	4	5	6	7	8	10

Right Screenshot: Text Type Tab

個数	線色	高さ	幅	間隔	種類
55	2	3	3	0	No.1
7	2	3	3	1	No.2
6	1	4	4	0	No.3
5	3	5	5	0	No.4
3	7	2.5	2.5	0	No.5
3	6	10	10	0	No.6
3	2	3.5	3.5	0	No.7
2	2	4	4	1	No.8
3	4	2.5	2.5	0	No.9
2	5	5	5	0	No.10
2	6	3	3	1	任意...

DRA-CAD で文字種類に[1 番～10 番][任意サイズ]を設定し、JWW ファイルに書き出した文字は、Jw_cad の文字種類の[1 番～10 番][任意サイズ]として、色をセットにした状態で読み込まれます。

Jw_cad の「基本設定」ダイアログ

Text Tab Settings

任意サイズ	横	縦	間隔	色No.	使用文字数	任意サイズ種類
文字種 1	3	3	0	2	【55】	【2】
文字種 2	3	3	1	2	【7】	
文字種 3	4	4	0	1	【6】	
文字種 4	5	5	0	3	【5】	
文字種 5	2.5	2.5	0	7	【3】	
文字種 6	10	10	0	6	【3】	
文字種 7	3.5	3.5	0	2	【3】	
文字種 8	4	4	1	2	【2】	
文字種 9	2.5	2.5	0	4	【3】	
文字種 10	5	5	0	5	【2】	

CtrlKey による文字移動方向

Shift	Ctrl	Alt
X	Y	XY

変更基準点

左	中	右
上	中	下

日影用高さ・真北、2.5 D用高さ・奥行き文字サイズの種類指定(1～10)

(文字サイズのみ指定、作図される文字は任意サイズの文字種類)

文字の輪郭を背景色で描画

文字(寸法図形、ブロック図形)を最後に描画

文字列範囲を背景色で描画

範囲増寸法(-1～10mm)

4. 補足

ここでは、設定ファイルの書込・読込、レイヤグループなどの補足説明をします。

設定ファイルの書込・読込

JWW ファイルへの書き出し、または読み込みダイアログで設定した内容は、設定ファイル(拡張子.ini)として保存できます。変換するファイルによってダイアログの設定が異なるときに、設定ファイルした内容を保存し、次回変換時にもその設定ファイルを読み込むことで、毎回同じ内容で変換できます。

「JWW 書き出し」ダイアログ

「JWW 読み込み」ダイアログ

[設定の書込]ボタン： 名前を付けて保存ダイアログを表示し、現在のダイアログの設定内容を設定ファイル(拡張子.ini)として保存します。

[設定の読込]ボタン： 開くダイアログを表示し、保存してある設定ファイル(拡張子.ini)を読み込み、現在のダイアログの設定と置き換えます。

変換のアドバイス

レイヤ名やカラー、線種、線幅、印刷の設定などは、それぞれの図面ごとに保持されますので、新規図面の作成や、JWW ファイルを読み込む時には、初期値になってしまいます。

レイヤ名やカラー、線種、線幅、印刷の設定を行ったファイルを「DRAWIN.MPZ」というファイル名をつけて、【環境設定】コマンドの「保存」-「全般」→[DRA-CAD が使用するファイルの場所]のフォルダー内に保存すると、JWW ファイルの読み込み時に、その設定が自動的に反映されます。同一の設定で JWW ファイルを複数読み込む場合に利用できます。

※「DRAWIN.MPZ」ファイルを保存すると、それ以降の新規作成や JWW ファイルの読み込み時には、この設定になります。初期値に戻したい場合は、「DRAWIN.MPZ」を削除します。

例：線種を設定し「DRAWIN.MPZ」で保存後、JWW ファイルを読み込む

[操作手順]

1. 新規ファイルを作成し、【線種の設定】コマンドを実行すると、線種の設定ダイアログが表示されます。
2. 初期値の線種ピッチと異なる線種ピッチを設定し、[OK]ボタンをクリックします。
3. 「DRAWIN.MPZ」というファイル名で「保存」-「全般」→[DRA-CAD が使用するファイルの場所]に保存します。
4. 「DRAWIN.MPZ」ファイルを閉じます。
5. 【開く】コマンドを実行し、JWW ファイルを読み込むと、JWW 読み込みダイアログが表示されます。
[線種]タブで Jw_cad の線種に DRA-CAD の線種番号を [v] ボタンから設定し、[OK]ボタンをクリックします。

※DRA-CAD の線種番号を選択する時に、「DRAWIN.MPZ」で設定した線種番号と線種が表示されます。

記入縮尺について

DRA-CAD では、1つのファイル内で異なる縮尺の図形を作図する場合は、「記入縮尺」を設定し作図します。
Jw_cad では、レイヤグループで異なる縮尺を設定し作図します。

DRA-CAD で新規に図面を作図後、JWW ファイルに変換する場合

異なる縮尺の図形がある図面を JWW ファイルに変換する場合は、【レイヤグループ設定】コマンドでレイヤグループと縮尺を設定後、作図して変換してください。

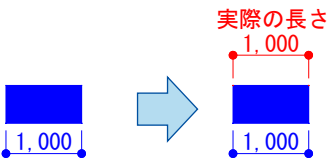
注意点

DRA-CAD で異なる縮尺ごとに「記入縮尺」は設定したが、レイヤグループを設定せずに変換すると、「記入縮尺」は無視されて「図面の縮尺」で変換されます。

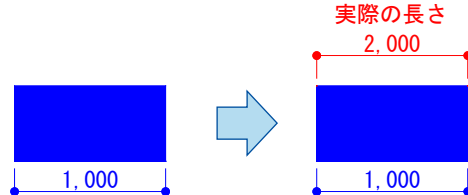
そのため、「記入縮尺」を設定した寸法線図形がある図面を変換後 Jw_cad で開いた場合、実際の長さ寸法情報が異なります。

その図面を Jw_cad でパラメトリックすると、実際の長さとは違う尺度の寸法値になります。

「図面の縮尺」 1/100 「記入縮尺」 1/100
DRA-CAD Jw_cad で開く



「図面の縮尺」 1/100 「記入縮尺」 1/50
DRA-CAD Jw_cad で開く



JWW ファイルを読み込み後、DRA-CAD で作図や編集して再度、JWW ファイルに変換する場合

JWW ファイルを読み込んだ場合、Jw_cad で設定したレイヤグループと縮尺は読み込まれます。

「異なる縮尺を設定しているか」は、【レイヤグループ設定】コマンドや【Jw レイヤパレット】で確認できます。

【レイヤグループ設定】コマンドでは、指定したレイヤグループに所属している図形の確認やそのレイヤのみを表示することができます。レイヤグループに所属している図形を確認しながら「記入縮尺」の変更や修正が行えます。

注意点

DRA-CAD で寸法線の文字に実際の寸法と異なる値を書き、JWW ファイルに変換した場合には、寸法数値が意図しない値になってしまうことがありますのでご注意ください。



変換のアドバイス

JWW ファイルに変換する場合

新規に図面を作成時、1つのファイル内に異なる縮尺がある場合、JWW ファイルに変換することがあらかじめわかっているときは、【レイヤグループ設定】コマンドで、レイヤグループと縮尺を設定後、作図してください。

レイヤグループ単位で「記入縮尺」を設定して作図しますので、JWW ファイルへの変換がスムーズに行えます。

「記入縮尺」については、「Jw レイヤパレット」にも設定してください。

JWW ファイルを読み込み、DRA-CAD で編集後、再度変換する場合

JWW ファイルを読み込むことで、レイヤグループとレイヤグループごとの縮尺は読み込まれます。編集する際には、

【レイヤグループ設定】コマンドまたは「Jw レイヤパレット」で「記入縮尺」を設定して編集します。

※＜注意点＞について、20 ページの「変換のアドバイス」を参照

※21 ページの「Jw レイヤパレットについて」、54 ページの「【レイヤグループ設定】コマンドについて」を参照。

【レイヤグループ設定】コマンドについて

DRA-CAD から「1つのファイル内に異なる縮尺がある図面」を作図し、Jw_cad に変換する場合、レイヤグループに対する所属レイヤと縮尺を【レイヤグループ設定】コマンドで設定しておく必要があります。

POINT!

既存のファイルを利用してレイヤグループを設定する方法が便利です。推奨は方法1

方法1：JWW ファイルを DRA-CAD へ読み込んだ場合は、レイヤグループが読み込まれます。

方法2：JWW ファイルやレイヤグループを設定した DRA-CAD ファイル (MPUW/MPS/MPZ/MPX) があれば、「インポート」することで、レイヤグループが設定されます。

※詳細は、56 ページの「変換のアドバイス」の「レイヤグループの設定をインポートする」を参照。

◆ レイヤグループに対する所属レイヤ(16 グループ×16 レイヤ)を設定する

ここでは1から設定する方法を説明します。

1. 【レイヤグループ設定】コマンドを実行する

レイヤグループ設定ダイアログが表示されます。

2. 新しいグループを追加し、所属レイヤを設定する

(1) [追加] ボタンをクリックすると、新しいグループが追加されます。グループ名は「001:LayerGroup」と自動的に設定されます。

※グループ名は任意の名称で問題ありません。

(2) 所属レイヤ番号の[参照] ボタンをクリックすると、レイヤの指定ダイアログが表示されます。

「レイヤグループ設定」ダイアログ

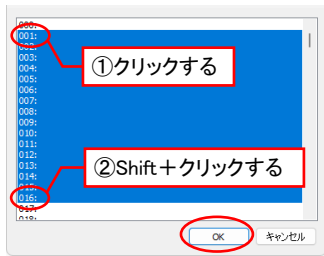



「レイヤの指定」ダイアログ

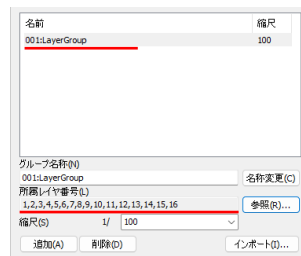
4. 補足

- (3) 16 個のレイヤを選択しますので、レイヤ番号の[001]でクリックし、**[Shift]**キーを押しながら、[016]をクリックします。**[OK]**ボタンをクリックすると、グループ名「001:LayerGroup」に、所属レイヤとして「1～16」番が設定されます。

「レイヤ指定」ダイアログ



「レイヤグループ設定」ダイアログ



3. 縮尺を設定する

縮尺の ボタンをクリックし、リストから数値を選択、または数値を入力します。

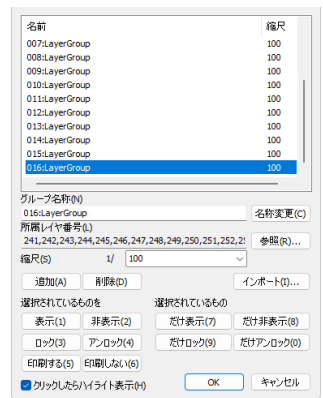
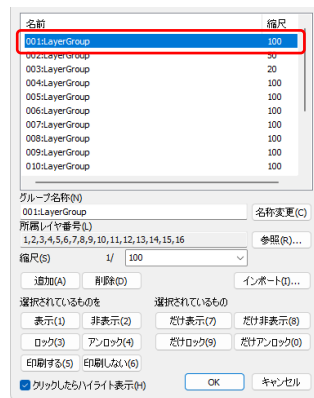
4. 新しいグループを追加し、所属レイヤを設定する

続けて、2. ～3. の操作を繰り返し、下表と同じように、レイヤグループに対する所属レイヤの設定、縮尺の設定を行います。

グループ名「016:LayerGroup」まで作成できれば、**[OK]**ボタンをクリックします。

グループ名	所属レイヤ
001:LayerGroup	1 ～16
002:LayerGroup	17～32
003:LayerGroup	33～48
004:LayerGroup	49～64
005:LayerGroup	65～80
006:LayerGroup	81～96
007:LayerGroup	97～112
008:LayerGroup	113～128
009:LayerGroup	129～144
010:LayerGroup	145～160
011:LayerGroup	161～176
012:LayerGroup	177～192
013:LayerGroup	193～208
014:LayerGroup	209～224
015:LayerGroup	225～240
016:LayerGroup	241～256

例では
002:LayerGroup に 1／50
003:LayerGroup に 1／20
それ以外は 1／100
を設定します。



5. DRA-CAD ファイル(MPUW、MPS、MPZ、MPX)で保存する

【名前をつけて保存】コマンドで、MPUW、MPS、MPZ、MPX のいずれかのファイル形式で保存します。

※【レイヤグループ設定】コマンドで設定したグループ情報は、Ver.12 以降の MPS/MPZ ファイルで保存してください。Ver.11 以前で保存すると削除されます。

POINT!

レイヤパレットも縮尺を設定します(レイヤパレットの詳細については、21 ページの「レイヤパレットについて」を参照)。

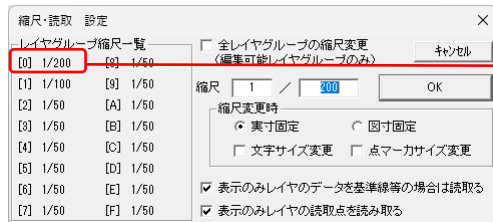


変換のアドバイス

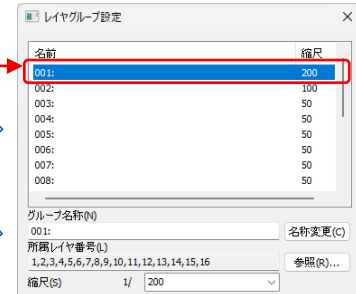
JWW ファイルを読み込んだ場合の縮尺について

- JWW ファイルを読み込むと、【レイヤグループ設定】コマンドに 16 個のレイヤグループと縮尺が設定されます。Jw_cad の「レイヤグループ 0」の縮尺が、DRA-CAD の【レイヤグループ設定】コマンドの【001:】に設定され、「図面縮尺」に設定されます。※【レイヤパレット】にも縮尺が設定されます。

例：Jw_cad の「縮尺・読取 設定」ダイアログ



DRA-CAD の「レイヤグループ設定」ダイアログ



ステータスバー



【002:】以降の縮尺について

名前(例:【002:】)をダブルクリックすることで、「記入縮尺」に設定されます(詳細は次のページ「レイヤグループ設定」コマンドで記入縮尺の設定と所属レイヤの確認を参照)。

※【レイヤパレット】では、Group 番号を右クリックすることで、「記入縮尺」に設定されます。

レイヤグループの設定をインポートする

1) [インポート]ボタンをクリックします。

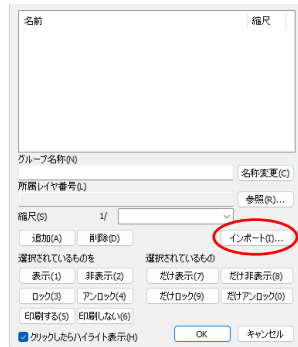
2) 開くダイアログが表示されますので、ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。

※DRA-CAD ファイルの場合は、あらかじめレイヤグループを設定したファイル(MPUW/MPS/MPZ/MPX)を用意しておいてください。

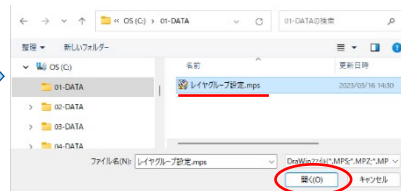
※JWW ファイルの場合は、ファイルの種類を「すべて」に設定してから、ファイルを選択してください。

3) レイヤグループ設定ダイアログにレイヤグループに対する所属レイヤ(16 グループ×16 レイヤ)が設定されます。

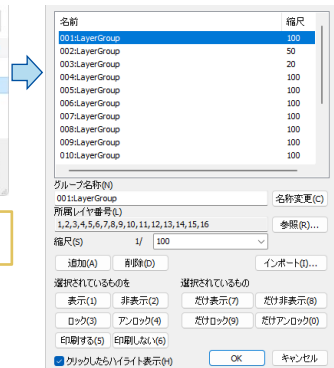
「レイヤグループ設定」ダイアログ



「開く」ダイアログ



「レイヤグループ設定」ダイアログ



【Jw レイヤパレット】にも反映されます。

JWW ファイルに保存する場合の縮尺について

- Jw レイヤパレットを表示した状態で、JWW 保存を行った場合、「Jw レイヤパレット」で設定した記入縮尺で保存されます。Jw レイヤパレットを表示していない状態で、JWW 保存を行った場合、「レイヤグループ設定」コマンドで設定した縮尺で保存されます。

異なる縮尺がない場合

- 元図面や個々のレイアウト内で異縮尺の図面が無い場合、レイヤグループは設定する必要はありません。「図面の縮尺」が変換されます。

◆ 【レイヤグループ設定】コマンドで記入縮尺の設定と所属レイヤの確認

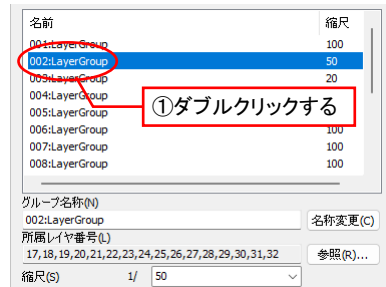
例:「1/50 [002:LayerGroup] , レイヤ 17 で作図」、「1/100 [001:LayerGroup] , レイヤ 1 で作図」

1. 【レイヤグループ設定】コマンドから「記入縮尺」を設定する

【レイヤグループ設定】コマンドを実行します。[002:LayerGroup]をダブルクリックすると、記入縮尺が「1/50」に設定されます(【レイヤグループ設定】コマンドは自動的に終了します)。

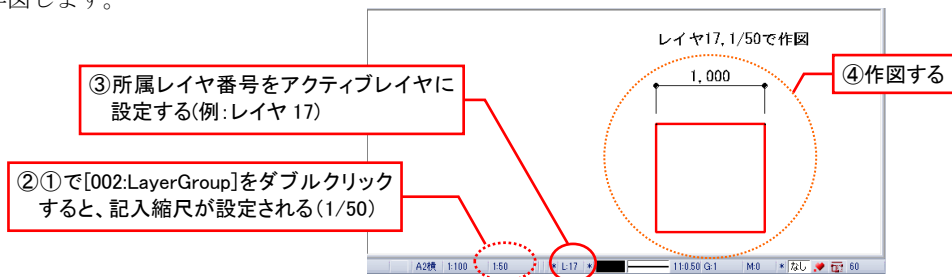
下表のように設定する場合

グループ名	所属レイヤ	縮尺
001:LayerGroup	1～16	100
002:LayerGroup	17～32	50
003:LayerGroup	33～48	20



2. レイヤグループに所属するレイヤ番号をアクティブレイヤに設定して作図する

[002:LayerGroup]に所属しているレイヤ番号 17 番～32 番のいずれかをアクティブレイヤに設定して作図します。



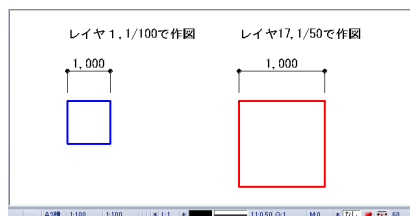
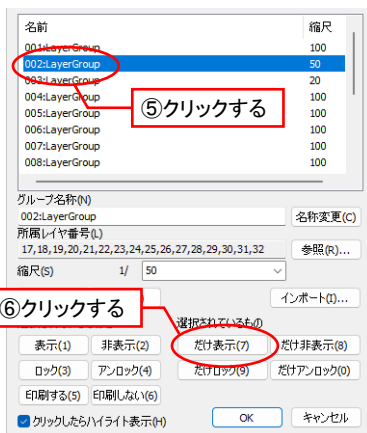
3. 同様に縮尺が変わるごとに 1. の記入縮尺の設定、2. のレイヤを設定し作図する

[001:LayerGroup]をダブルクリックすると、記入縮尺が「1/100」に設定されます。

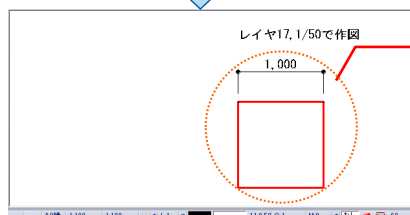
[001:LayerGroup]に所属しているレイヤ番号 1 番～16 番のいずれかを設定して作図します。

4. [002:LayerGroup]の所属レイヤ(17 番～32 番)だけを表示し確認する

【レイヤグループ設定】コマンドを実行します。[002:LayerGroup]を選択して[だけ表示]ボタンをクリックすると、17～32 番のレイヤだけが表示されます。[002:LayerGroup]に所属しているレイヤ番号で作図しているかを確認できます。



[002:LayerGroup]を選択すると、所属しているレイヤの図形がハイライト表示します。



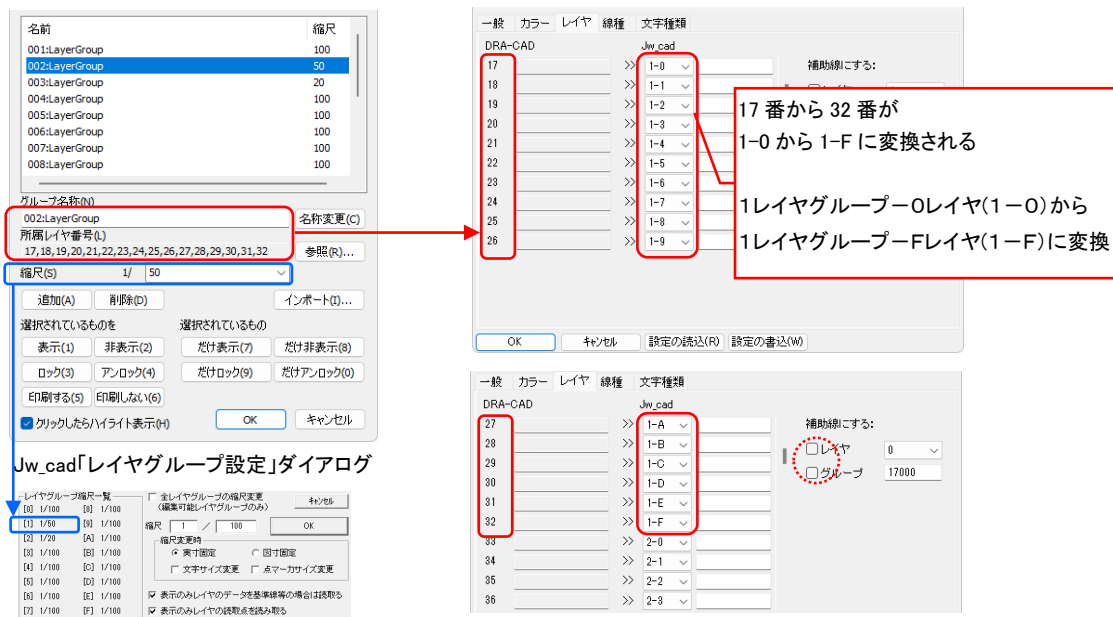
[だけ表示]ボタンをクリックすると、例では 17～32 番のレイヤだけが表示される

✦ 書き出し時のレイヤ設定

JWW 書き出し時の**【レイヤ】タブ**の設定は初期値のままで保存すると、**【レイヤグループ設定】**コマンドで設定したレイヤグループに対応します。

例:【レイヤグループ設定】コマンドで追加した[002:LayerGroup]、所属レイヤはレイヤ 17～32 番、縮尺は 1/50 とした場合
保存時の【レイヤ】タブの初期値では、レイヤ 17～32 番は 1 レイヤグループになり、縮尺も 1 レイヤグ
ループに 1/50 が変換されます。

※縮尺は、レイヤグループごとに設定できます。設定していない場合は、「図面の縮尺」で変換されます。



保存時の[レイヤ]タブの初期値

DRA-CAD	Jw_cad
レイヤ番号 1～16	0 レイヤグループ
レイヤ番号 17～32	1 レイヤグループ
レイヤ番号 33～48	2 レイヤグループ
レイヤ番号 49～64	3 レイヤグループ
レイヤ番号 65～80	4 レイヤグループ
レイヤ番号 81～96	5 レイヤグループ
レイヤ番号 97～112	6 レイヤグループ
レイヤ番号 113～128	7 レイヤグループ
レイヤ番号 129～144	8 レイヤグループ
レイヤ番号 145～160	9 レイヤグループ
レイヤ番号 161～176	A レイヤグループ
レイヤ番号 177～192	B レイヤグループ
レイヤ番号 193～208	C レイヤグループ
レイヤ番号 209～224	D レイヤグループ
レイヤ番号 225～240	E レイヤグループ
レイヤ番号 241～256	F レイヤグループ
レイヤ番号 0	F レイヤグループ

【レイヤグループ設定】コマンドで設定した例

グループ名	所属レイヤ	縮尺
001:LayerGroup	1～16	1/100
002:LayerGroup	17～32	1/50
003:LayerGroup	33～48	1/20
004:LayerGroup	49～64	1/100
005:LayerGroup	65～80	1/100
006:LayerGroup	81～96	1/100
007:LayerGroup	97～112	1/100
008:LayerGroup	113～128	1/100
009:LayerGroup	129～144	1/100
010:LayerGroup	145～160	1/100
011:LayerGroup	161～176	1/100
012:LayerGroup	177～192	1/100
013:LayerGroup	193～208	1/100
014:LayerGroup	209～224	1/100
015:LayerGroup	225～240	1/100
016:LayerGroup	241～256	1/100

レジストリ編集ツール

DRA-CAD のレジストリ編集ツールに、JWW の読み込みに関係する設定があります。設定を変更する場合は、レジストリ編集ツールの[ヘルプ]ボタンより、操作方法、注意事項を必ず読んでから行ってください。DRA-CAD を終了してからレジストリ編集ツールを起動してください。

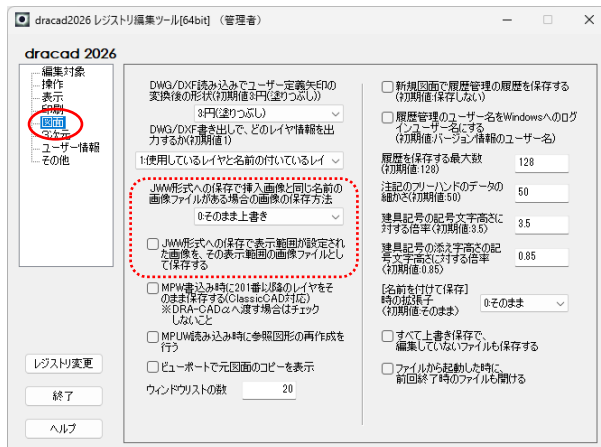
1. Windows の  (スタート) ボタンをクリックし、[すべて]で[ビュー:カテゴリ]から[一覧]を選択すると、アプリの一覧が表示されます。

※画面をスクロールして、「dracad 2026」のグループを表示します。

2. 「dracad 2026」→「dracad2026 レジストリ編集ツール」を起動し、[図面]を選択する



※ここでは例として一部のアイコンを表示しています。



初期値は以下になっています。

[JWW 形式への保存で挿入画像と同じ名前の画像ファイルがある場合の画像の保存方法]

「0: そのまま上書き」、「1: ファイル名を変更して保存」、「2: 今あるファイルを使用」から設定します。変更する場合は、 ボタンをクリックして、リストから選択します。

[☒ JWW 形式への保存で表示範囲が設定された画像を、その表示範囲の画像ファイルとして保存する]

表示範囲が設定された画像を、その表示範囲で画像ファイルとして保存します。

☐ にすると、表示範囲が解除された画像ファイルが保存されます。

2. 設定後、[レジストリ変更]ボタンをクリックする

3. [終了]ボタンをクリックする

レジストリ編集ツールを終了し、dracad 2026 を起動します。これ以降の JWW 形式に保存する際に反映されます。

設定ファイルの書込・読込

読み込みに対応している Jw_cad のバージョン

Jw_cad DRA-CAD	10.01-	7.00-8.25a	6.00-6.21a	4.20-5.22	2.30-2.51 3.00-3.50 3.51-4.10	2.25-2.25e
dracad 2025 / 2026	○	○	○	○	○	○
DRA-CAD 10 ~ 22		○	○	○	○	
DRA-CAD 8 / 9			○	○	○	○
DRA-CAD 7				○	○	○
DRA-CAD 5 / 6					○	○

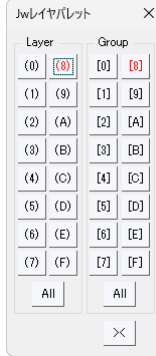
※dracad 2025 から Unicode に対応、Jw_cad は Ver.10.01～Unicode に対応。

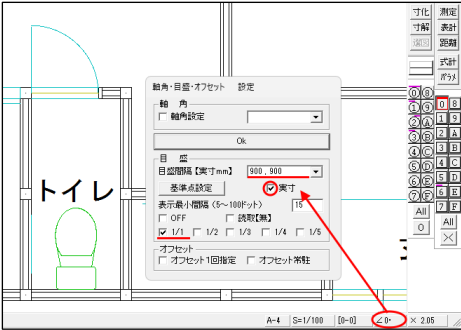
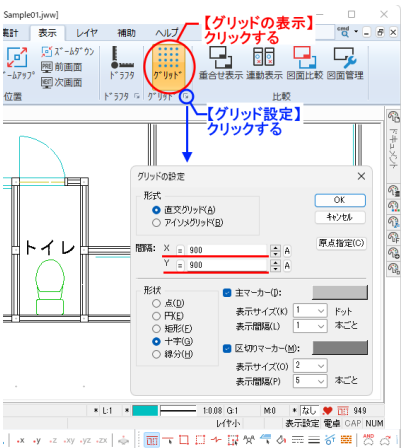
書き出しに対応している Jw_cad のバージョン

Jw_cad DRA-CAD	10.01-	7.00-8.25a	6.00-6.21a	4.20-5.22	2.30-2.51 3.00-3.50 3.51-4.10	2.25-2.25e
dracad 2025 / 2026	○	○	○	○	○	
DRA-CAD 10 ~ 22		○	○	○	○	○
DRA-CAD 8 / 9			○	○	○	
DRA-CAD 7				○	○	
DRA-CAD 5 / 6					○	

※dracad 2025 から Unicode に対応、Jw_cad は Ver.10.01～Unicode に対応。

バージョンごとの対応内容一覧表

DRA-CAD Ver	対応内容
dracad 2025	「Jw レイヤパレット」が追加されました。 Jw_cad と同等の操作でレイヤの表示状態の切り替えが可能になりました。 

DRA-CAD Ver	対応内容
DRA-CAD22	JWW 読込 JWW ファイルに保存されているグリッドの設定を読み込めるようになりました。 ※Jw_cad の「軸角・目盛オフセット」の目盛設定で「[実寸]」に ☒ を入れる、 「グリッドを表示する (例：1/1 に ☒)」を設定して JWW ファイルで保存してください。  グリッドの設定をした JWW ファイルを読み込みます。 ※JWW ファイルを読み込み後、【グリッドの表示】コマンドをクリックしてグリッドを ON にしてください。 グリッドの設定情報を確認する場合は、【グリッド設定】をクリック→「グリッドの設定」ダイアログを表示すると確認できます。 
DRA-CAD22	JWW 保存 JWW ファイルにグリッドの設定を書き出せるようになりました。 DRA-CAD の 【グリッド設定】コマンドでグリッドの間隔を設定し、グリッドの表示を ON の状態のまま JWW ファイルに保存します。

DRA-CAD Ver	対応内容
DRA-CAD21	JWW 読込 ・画像の透過を有効にするかのチェックボックスを追加しました。 ・制御文字（上付文字、下付文字、太字、イタリック、アンダーライン、消字ライン）に対応しました。 ・制御文字の重ね文字を使った「PL」「CL」の文字列を、ユニコード文字で読み込むようにしました。 JWW 保存 ・画像のマスクカラー合成されている場合に、Jw_cad で同じように透過するように対応しました。 ・ユニコードの「PL」「CL」を、Jw_cad の制御文字の重ね文字で書き出すようにしました。
DRA-CAD20	JWW 保存 塗りつぶし図形がある図面では、書き出し時に塗りつぶし図形を変換できない場合があります。確認のために、変換できなかった塗りつぶし図形を別ファイルに書き出す機能を追加しました。 変換できなかった部分のみ、別ファイルに保存され、そのファイルが開かれ、どの部分が変換できなかったかをすぐに確認することができます。
DRA-CAD19	JWW 保存 ・レイアウト図面が表示されている場合は、レイアウトを保存するように変更しました。元図面が表示されている場合は、変換の設定により、すべてのレイアウトも保存できるようになりました。 ・変換の設定ダイアログのレイアウトを変更しました。 (一般タブを先頭ページに変更、一般タブ内のレイアウトを変更)
DRA-CAD18	JWW 読込 線種を自動変換する時に、破線、点線、一点鎖線、二点鎖線の線種定義を Jw_cad と同じにする設定を追加しました。
DRA-CAD16	JWW 保存 JWW 書き込みダイアログの[文字種類]タブに「自動で変換する」の設定を追加しました。 「自動で変換する」をチェックした場合、DRA-CAD で表示されているのと同じ大きさや色で文字列が表示されるように変換します。 文字の大きさと色の組み合わせで、使用頻度の高い順に 10 種類を、Jw_cad の文字種 1 から文字種 10 に割り当てます。 上記以外の文字列は、Jw_cad の任意サイズとして変換します。 ※Jw_cad ver.4.20 以降で書き込みする場合にのみ有効
DRA-CAD15	JWW 読込 ・文字を出力サイズ指定で読み込むことができます。 ・Jw_cad の線色定義を自動的に変換できます。 ・Jw_cad の線種定義を自動的に変換できます。 JWW 保存 ・DRA-CAD のカラー定義を自動的に変換できます。 ・DRA-CAD の線種定義を自動的に変換できます。 ・【環境設定】コマンドの〔図面〕タブでオーバーレイ分解時のレイヤの設定ができるため、JWW 書き出し時、オーバーレイ分解に反映されます。
DRA-CAD14	JWW 読込 補助線を補助線図形に変換しない設定を追加しました。

4. 補足

DRA-CAD Ver	対応内容
DRA-CAD13	・補助線が、Jw_cad の補助線へ変換できます。 ・Jw_cad のレイヤグループの縮尺をレイヤグループで表示できます。
DRA-CAD12	・図面の背景色の読み込み、レイヤグループの名称に対応しました。
DRA-CAD11	JWW 読み込み ・線幅を無視して読み込む設定を追加しました。
DRA-CAD10	・図面上のトリミングや回転された画像の読み込み/書き出しに対応しました。
DRA-CAD8	・SXF 拡張属性の読み込み/書き出しに対応しました。 ・高さ情報の読み込みに対応しました。
DRA-CAD7	JWW 保存 書き出しの「線種」設定で、線種定義に合わせて線種画像を表示するように変更しました。



変換についてのよくあるご質問

変換に関するよくあるご質問です。詳細は該当ページでご確認ください。

◆ 読み込みについて

質問	回答	該当ページ
対応しているバージョンを教えてください。	Jw_cad のバージョン Ver2.25～Ver10.0.2.1	P. 1 参照
読み込んだ文字の原点が全て左下になります。なぜでしょう？	Jw_cad では、文字データには左下の座標のみ保存され、作図時の文字基点の情報は保存されません。そのため、すべての文字原点が左下で読み込まれます。	P. 3 ※2 参照
制御文字、重ね文字など、変換できますか？	制御文字 上付文字、下付文字、太字、イタリック、アンダーライン、消字ラインについては変換できます。 重ね文字 「PL」(P ^a bL)、「CL」(C ^a bL)はDRA-CADのユニコード文字に置き換えて読み込みます。ユニコードに対応している文字については、置き換えられるものは変換可能ですが、Jw_cad特有の設定については変換できません。	P. 3 ※4 参照 P. 4 参照
図面ファイル内に埋め込まれた画像ファイルは読み込みますか？	読み込みます。 また、透過を設定している場合は、「画像の透過色を有効にする」に ☒ を入れると、透過できます。	P. 3 ※3 参照 P. 30 [線色]タブ 「⑦画像の透過色を有効にする」参照
カラーの設定について教えてください。	[線色] タブと [SXF 拡張線色] タブで設定します。JWW ファイルの線色定義を読み込み、Jw_cad 上での画面表示と同じ色合いで表示されるように読み込みたい場合は、[自動で変換する]を ☒ 入れて変換します。 また、[自動で変換する]を ☐ にすることで、 <u>同じ色のカラー番号</u> や <u>同じカラー番号</u> に設定することもできます。	P. 12 [線色]タブ 参照 P. 16 [SXF 拡張 線色]タブ 参照
Jw_cad の補助線はどのように変換されますか？	[線色] タブで[自動で変換する]に ☒ を入れて変換した場合、色は DRA-CAD の 9 番、カラー名称「補助線色」に設定されます。 また、[一般] タブの[補助線を補助線図形として変換する]が ☒ の場合、「補助線図形」に変換されます（対象は変換後、線分となる図形）。	P. 14 「補助線について」 「補助線の変換について」参照 P. 30 [一般] タブ ⑥「補助線を補助線図形に変換する」 参照
レイヤの設定について教えてください。	[レイヤ] タブで個別に設定できます。 基本的には初期値のまま変換してください。	P. 19 [レイヤ]タブ 参照 P. 54 「【レイヤグループ設定】コマンドについて」参照

質問	回答	該当ページ
縮尺はどのように変換されますか？	Jw_cad の「レイヤグループ 0」の縮尺が、【レイヤグループ設定】コマンドの[001:]に設定され、DRA-CAD の「図面縮尺」に設定されます。 [002:]以降に設定された縮尺は、「記入縮尺」で設定します。	P. 20 「変換のアドバイス」参照 P. 56 「変換のアドバイス」の「JWW ファイルを読み込んだ場合の縮尺について」参照 P. 57 [002:]以降の記入縮尺の設定方法は、 「■【レイヤグループ設定】コマンドで記入縮尺の設定と所属レイヤの確認」参照 P. 21 「Jw レイヤパレット」について参照
線種の設定について教えてください。	〔線種〕タブと〔SXF 拡張線種〕タブの[自動で変換する]に☒を入れて変換してください。 また、破線、点線、一点鎖線、二点鎖線の線種定義が Jw_cad と DRA-CAD では異なるため、Jw_cad と同じにしたい場合は、 [☒ 破線、点線、一点鎖線、二点鎖線の線種定義を Jw_cad と同じにする]に☒を入れてください。	P. 22～P. 24 「〔線種〕タブの解説」参照 P. 25～P. 27 「〔SXF 拡張 線種〕タブの解説」参照
文字幅の設定について教えてください。	推奨の設定は、[☒ 全角幅]、[☒ 半角文字の幅は半分]です。	P. 28 〔一般〕タブ ①「文字幅」参照
Jw_cad の実点、仮点はどのように変換されますか？	実点は「点」に変換されます。 仮点は[仮点を読み込む]に☒を入れると、「点」に変換されます。 Jw_cad では、【寸法線】コマンドで描いた寸法止めタイプ「●」は、「実点」で描かれます。 DRA-CAD では、【寸法線】・【通り心】コマンドで描いた寸法止めタイプ「○」・「●」は、「円」で描かれます。 寸法線の●を円に変換したい場合は、[☒ 点を円に変換(半径指定)]と設定すると、「円」に変換されます。 [☒ 仮点を読み込む]・[☒ 点を円に変換]と設定した場合、仮点も「円」に変換されます。	P. 30 〔一般〕タブ ③「仮点を読み込む」 ④「点を円に変換」参照
線幅の設定について教えてください。	〔一般〕タブ→〔線幅を変換する]に ☒ を入れると、変換されます。	P. 30 〔一般〕タブ ⑤「線幅を変換する」参照

◆ 書き出しについて

質問	回答	該当ページ
対応しているバージョンを教えてください。	Jw_cad のバージョン Ver2.30～Ver10.0.2.1	P. 5 参照 設定は、P. 34 参照
文字が「？」で表示されます。なぜですか？	DRA-CAD は、dracad 2025 から Unicode 文字に対応しました。 Jw_cad は Version 10.01 から Unicode 文字に対応しました。 ただし、Unicode の文字列をどのようにデータに格納するか、JWW ファイル形式の仕様が公開されていないため、Jw_cad で図面を書いた Unicode の文字列は、DRA-CAD では正常に変換できません。また、DRA-CAD で図面を書いた Unicode の文字列も、Jw_cad で表示されるように変換できません。	P. 9 「変換のアドバイス」参照
レイアウトだけを個別の図面として書き出せますか？	レイアウトを表示して JWW 書き出しを行うと、表示しているレイアウトだけを JWW ファイルとして書き出せます。 元図面が表示されている場合、 ☒ レイアウトを分解して変換]の設定で、元図面とすべてのレイアウトが JWW ファイルとして保存されます。	P. 34 [一般] タブ ②「レイアウトを分解して変換」参照
オーバーレイファイルは変換されますか？	☒ オーバーレイを分解して変換]とすることで、オーバーレイファイルを線分や文字に分解して変換します。 ☐ とした場合は変換されません。	P. 35 [一般] タブ ③「オーバーレイを分解して変換」参照
画像ファイルは変換されますか？	図面内に挿入している画像は、JWW ファイル内に保存したり、JPGやPNG ファイルを BMP 形式に変換して保存することで、変換できます。 ☒ 画像を JWW ファイル内に保存する]の設定で、JWW 保存することで、ファイル内部に画像ファイルを格納して保存します。 また、 ☒ 画像を BMP 形式に変換]の設定で、BMP 形式以外の画像でも BMP 形式に変換されます。	P. 36 [一般] タブ ④「画像を JWW ファイル内に保存する」 ⑤「画像をファイル保存先にフォルダを作って複写」 ⑥「画像を BMP 形式に変換」参照

質問	回答	該当ページ
寸法線の寸法止めタイプ「○」・「●」が変わってしまいます。設定はありますか？	DRA-CAD では、【寸法線】・【通り心】コマンドで描いた寸法止めタイプ「○」・「●」は、「円」で描かれます。 Jw_cad では、【寸法線】コマンドで描いた寸法止めタイプ「●」は、「実点」で描かれます。 Jw_cad と同じ寸法止めの「実点」として書き出す場合、 ☒ 円を点に変換 [点データ]→☒ 実点で書き出す を設定してください。	P. 37 [一般]タブ ⑦「円を点に変換」 ⑧「点データ」参照 「変換のアドバイス」参照
半角文字の文字幅が変わることがあります。どのようにすると良いでしょうか？	推奨は、DRA-CAD の【文字記入】コマンドで ・ [フォントを MS ゴシック] ・ [文字幅を 0 以外の数値] ・ ☒ 半角幅半分 の設定で文字を記入することです。 JWW ファイルで書き出す時に、 ☒ 半角文字のまま を設定して変換すると、Jw_cad で読み込んだ時の文字幅、表示幅が同じになります。	P. 38 [一般] タブ ⑨「半角文字」 「変換のアドバイス」参照
文字サイズの設定について教えてください。	【文字種類】で設定できます。 [自動で変換する]に☒を入れて変換してください。	P. 47 [文字種類] タブ 参照
レイヤの設定を教えてください。	【レイヤ】タブで設定できます。 DRA-CAD の「レイヤ番号」に対する Jw_cad の「レイヤグループ+レイヤ」を設定します。【レイヤグループ設定】コマンドで設定しておくことで、レイヤグループの管理がしやすくなります。	P. 43 [レイヤ] タブ P. 44 「レイヤグループ、レイヤについて」 P. 54 「【レイヤグループ設定】コマンドについて」参照
変換時の縮尺について教えてください。	・【レイヤグループ設定】コマンドの[001:]に設定されている縮尺で変換されます。記入縮尺を設定する場合は、[002:]以降に設定します。 Jw_cad では、【レイヤグループ設定】コマンドで設定した縮尺で読み込まれます。 ※「図面縮尺」と[001:(グループ名称)]は同じ縮尺を設定し、異なる縮尺は、[002:(グループ名称)]以降に設定してください。	P. 53 「記入縮尺について」 P. 54 「【レイヤグループ設定】コマンドについて」参照 P. 21 「Jw レイヤパレット」について参照 P. 20 「変換のアドバイス」について参照

質問	回答	該当ページ
カラー の設定を教えてください。	〔カラー〕 タブで設定できます。 〔自動で変換する〕に ☒ を入れて変換してください。	P. 39～P. 42 〔カラー〕 タブ 参照
線種 の設定を教えてください。	〔線種〕 タブで設定できます。 〔自動で変換する〕に ☒ を入れて変換してください。	P. 45～P. 46 〔線種〕 タブ 参照

◆ その他

質問	回答	該当ページ
複数のファイルをまとめて変換できますか？	【一括変換】コマンド、ドキュメントパレットから行えます。	P. 10 「変換のアドバイス」参照
複数の設計事務所から JWW ファイルをいただくことがあります。それぞれ読み込みの設定を変える必要があるのですが、毎回ダイアログの設定を変更するのでしょうか？	JWW の読み込みや書き出しダイアログで設定した内容は、設定ファイルとして保存しておくことができます。 保存した設定ファイルを読み込むことで、ダイアログの設定を再現することができます。	P. 52 「設定ファイルの書込・読込」参照
書き出し時、塗りつぶし図形がある図面でメッセージが表示されることがあります。どのようにすればよいでしょうか？	塗りつぶし図形の形状によっては、塗りつぶし図形を変換できない場合があります。変換できなかった場合、塗りつぶし図形を別ファイル(.MPZ)で保存するか確認メッセージが表示されます。 [はい]ボタンをクリックすると、変換できなかった部分のみ、別ファイルに保存され、そのファイルが開かれます。 変換できなかった部分を確認し、元のファイルを修正して、変換しなおしてください。	P. 33 「Point 塗りつぶし図形がある図面の変換」参照

